

禁電子式複写

青年学校関係法令 追録

文部省社会教育局

昭和12年5月

国立国会図書館



* 0050994000 *

0050994-000

CZ-613-40

青年学校関係法令



文部省社会教育局

追録

1937. 5

AHM

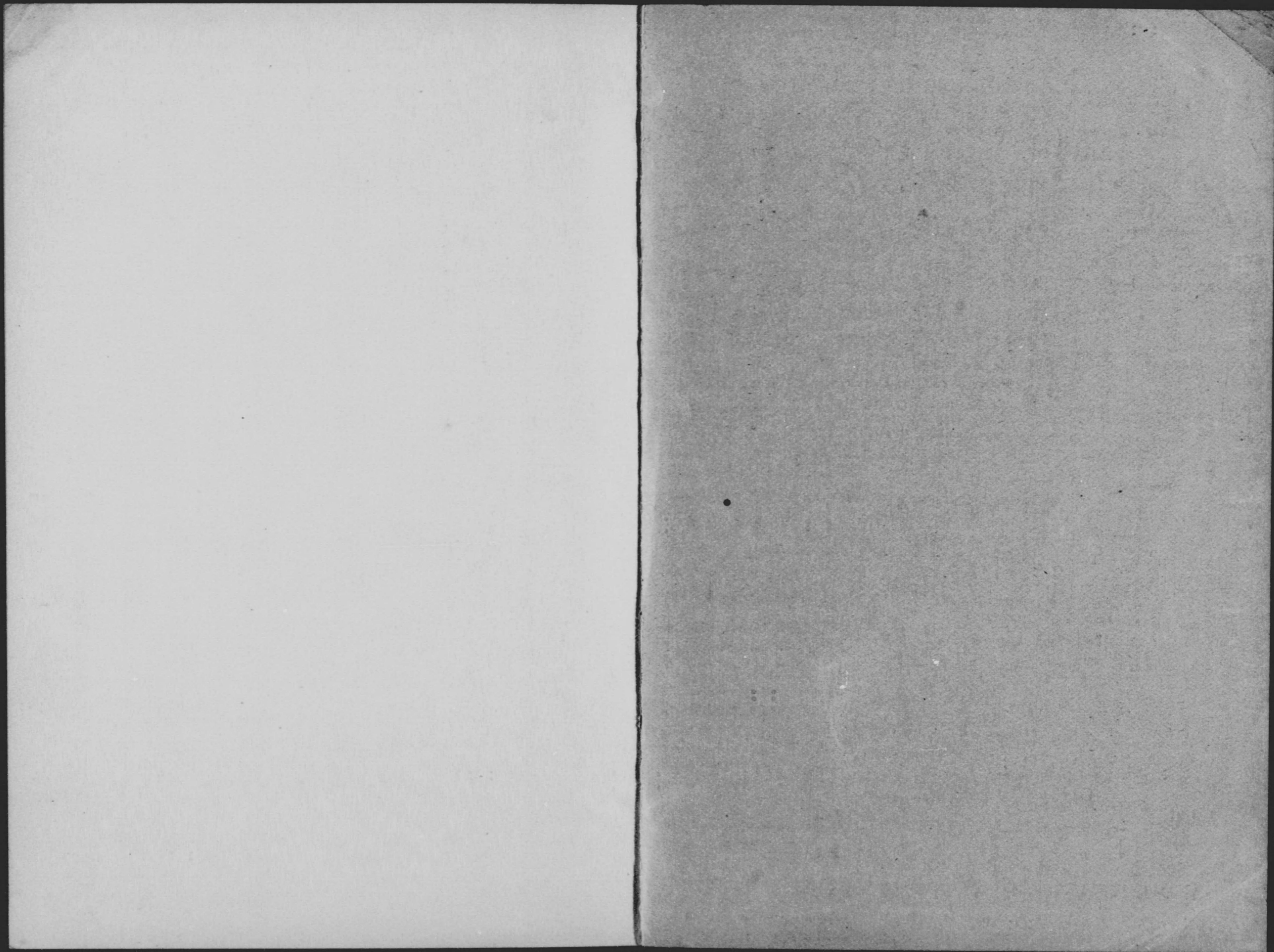
223431

37
52

昭和十二年五月三十一日

青年學校關係法令追錄

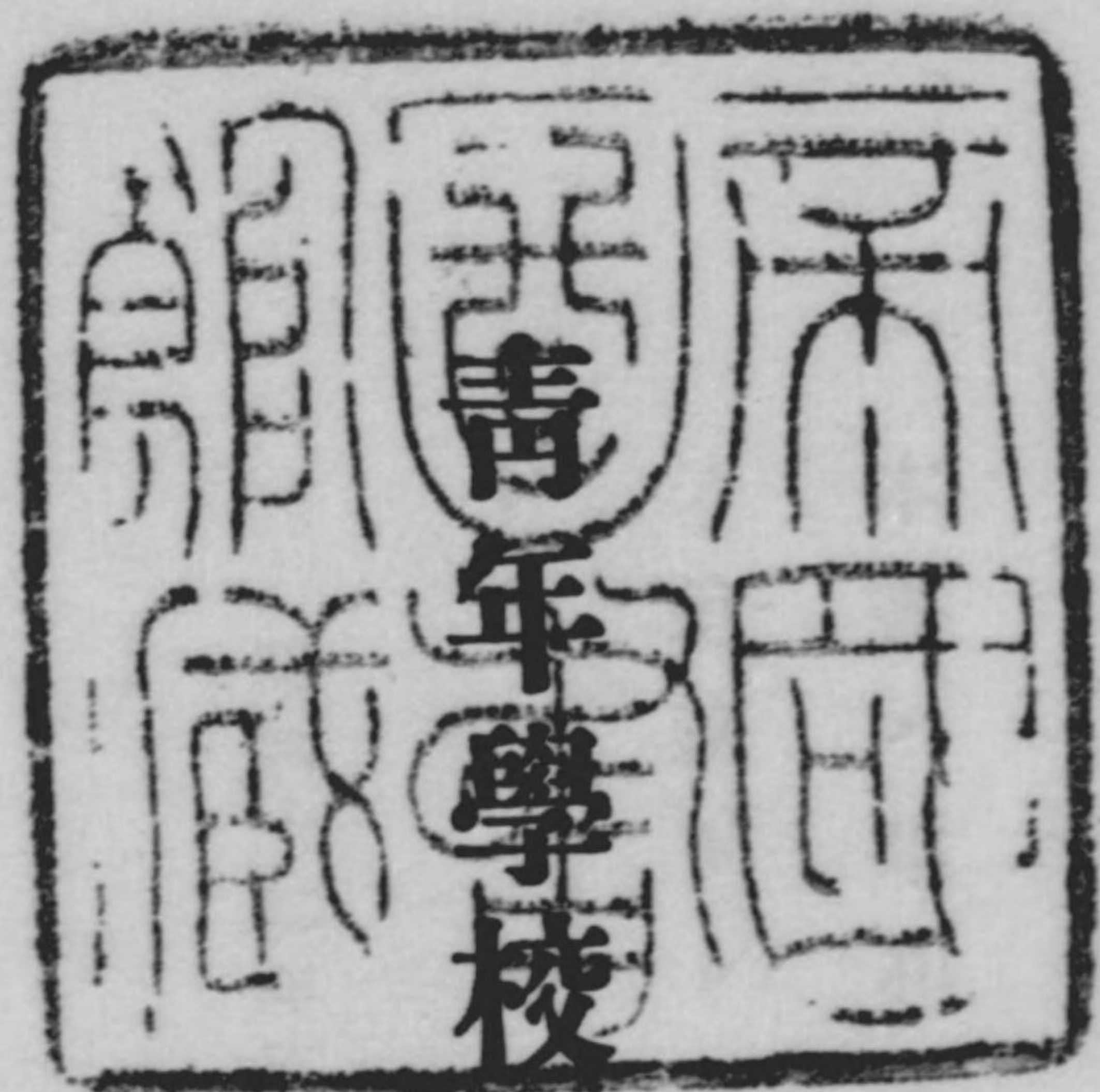
文部省社會教育局





Faint vertical text or markings on the left page, possibly bleed-through from the reverse side.





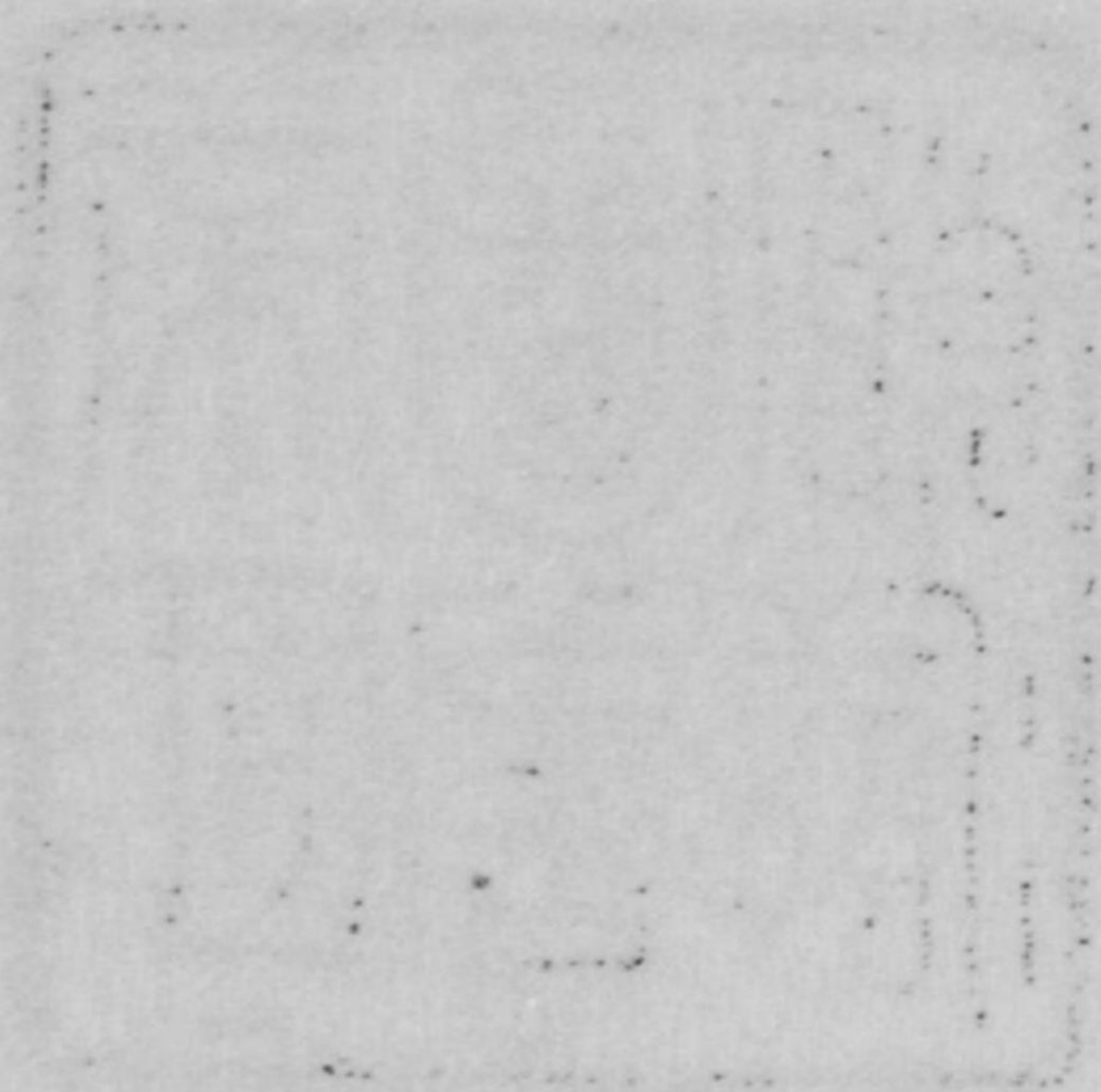
關係法令追錄

文部省社會教育局



文部省

寄贈本



CZ
613
40



文部省社会教育局

80W01206

凡例

一 本書ハ昭和十年十月刊行シタル「青年學校關係法令」
ノ追録トシテ青年學校ニ關スル法令規則類ヲ輯録
シタルモノナリ

昭和十二年五月三十一日

文部省社会教育局

80W01206



379.3

80W01206

青年學校關係法令 追録 目次

第一 青年學校

●青年學校教授及訓練要目(昭和一二、文訓二三).....	一頁
●私立青年學校ノ設置者ニ關スル件(昭和一二、發社四六).....	二七
●青年學校視學委員ノ取扱ニ關スル件(昭和一一、發社九二).....	二六
●青年學校教員養成所ノ所長又ハ教諭ヲ青年學校視學委員ニ委嘱ノ件(昭和一一、發社二八〇).....	二三〇
●「青年學校の歌」ノ歌詞及曲譜(昭和一二、文告二〇〇).....	二三二
●ラヂオ青年講座聽取方ニ關スル件(昭和一二、雜社七一).....	二四
第二 公立青年學校職員	
●奏任官待遇青年學校職員ノ任命上申ニ際シ調書添付ノ件(昭和一〇、祕四三八).....	一三五
●公立青年學校奏任待遇職員任用内規(昭和一一、祕二七八).....	一三七

第五 其ノ他

- 學校身體檢查規程〔抄〕(昭和一二、文令二)……………一三九
- 生徒兒童ノ外國旅行スル場合ノ企劃大要等報告方(昭和六、發專一七二)……………一四〇
- 旅客及荷物運送規則〔抄〕(昭和七、鐵告一七九)……………一四六

第一 青島港規程

青島港對開海峽令 五章 日本

第一青年學校

●青年學校教授及訓練要目

昭和十二年五月二十九日
文部省訓令第二十三號

北海道廳 府縣

青年學校教授及訓練要目左ノ通定ム地方長官ハ宜シク各學校長ヲ督勵シ本要目ニ基キ土地ノ情況ニ即シテ適切ナル教授及訓練ヲ爲シ以テ青年學校教育ノ本旨ヲ達成セシメンコトヲ期スベシ

青年學校教授及訓練要目

修身及公民科

- 一 常に教育に關する勅語の旨趣を體して生徒を教養すべきは特に青年學校教授及訓練科目要旨に明示せる所なり本要目亦此の根本方針に従ひて制定せり
- 二 國體觀念を明徴にし國家思想を涵養し特に忠君愛國の大義を明にし獻身奉公の心操を確立するは本科の眼目なり此の點意を用ひたる所なり
- 三 修身及公民科は修身と公民科との二科にあらずして渾然たる一科なり之亦特に留意せる所なり
- 四 教材は我が國民殊に青年に最須要なる事項を強調し兼ねて其の缺陷として矯正すべき方面を

- 重視して選擇を行ひたり
- 五 多種多様の教材をなるべく総合的なる題目の下に統合し更に之を一層基本的なるものに歸一せしめんことに力めたり
- 六 題目及要項は夫等相互の内面的關聯竝に夫等と生徒の生活環境との關係に留意し且單調を避け變化あらしむるやう排列せり更に其の排列に於ては相關聯せる事項にして後に來るものは之に先つものの發展たるやう留意したり
- 七 屢之を繰返して始めて體得せしめ得るが如き事項はなるべく形を變へて諸所に掲げ年齢經驗等の進むに應じて次第に之を會得せしむることとなしたり
- 八 題目はなるべく青年の親しみ易き語句を用ふるやう留意したり
- 九 點線の下は要項を取扱ふに當り特に留意すべき事項遺漏の虞ある事項或は關聯して説き及ぼすの要あるべき事項等を掲げたるものなり

本科(男子五年制)

第一年

二 我等の郷土

協同生活……持ちつ持たれつ・先人の遺業と後進の任務

共に楽しむ喜び……年中行事

郷土の氣風……醇風美俗の涵養

郷土愛……愛郷と愛國・郷土愛と郷土の發展・發展の基礎としての郷土研究

農村と都市……兩者の特徴と相互依存・農村の振興(農民精神・産業の開發・經營法の改善)・都市生活の改善(隣保互助精神の涵養・健全なる娛樂・都市の美化)

注意

- 一 協同生活の實際的指導竝に訓練に特に留意すること
- 一 年中行事は其の都度適切なる指導をなすこと
- 一 農村に於ては農村を主として都市に、都市に於ては都市を主として農村に説き及ぼすこと
- 一 都市に於ても郷土愛の涵養に力むること

二 敬神愛祖

朝夕のつとめ

氏神

神社

祭祀

注意

一 單なる知識の授與に止まることなく敬神崇祖の精神を體得せしむること
二 心をこめて神事佛事等を營む風を養ふこと

三 「我等の郷土」に於ける「年中行事」との關聯に留意すること

三 我が家

家庭……人生の本據・社會人の搖籃

家庭愛……親子・兄弟姉妹・祖先・忠孝一本

家の榮え

家の經濟……收入・豫算・記帳・貯蓄と保險・財の活用・家の經濟と國の富

注意

一 樂しき家庭の建設の喜びを感じしむること

一 特に母の力を高調すること

一 一家の事のみを考ふるの弊に陥ることなきやう家と社會・國家との關聯に留意すること

四 勞働

勞働の尊さ

働くものの喜び

働かざることの寂しさ

五 健康

健康の尊さ

健全なる精神と健全なる身體

國民保健……國民體育と公衆衛生

職業と保健

いかにして我等の健康を増進すべきか

注意

一 單に個人としてのみならず國民生活の上より見て健康がいかに大切なるかを會得せしむること

一 其の村其の町の實情を視て適切なる指導をなすこと

一 青年期に於ける健康の指導に留意すること

六 研究

獨創の喜び

青年の創意

工夫

共同研究

發明發見

注意

一 研究心は特に其の芽生に於て之が愛育に力むべきこと

一 常に研究工夫の用意を失はざるやう力めしむべきこと

一 實例としては殊に青年の輝かしき業績を擧ぐることに

七 まごころ

誠……一切の徳は誠より生ず

至誠神に通ず

注意

一 まごころは處世の根本なるを體得せしむること

第二年

一 國體の精華

天皇……皇位の繼承・御聖徳

皇室と臣民……忠君愛國

帝國憲法の精神

祝祭日 國歌 國旗

注意

一 日本國民たるの誇り・喜び・覺悟に導くこと

二 立憲政治

我が國立憲政治の由來……我が國體と立憲政治

政府

帝國議會

輿論……政黨

注意

一 憲政濟美に對する熱意を喚起すること

一 國民の政治に對する關心を喚起すること

三 自治の精神

一 殊に實地の訓練に依りて輿論の本質意義を體得せしむること

自治……自立と協同

自治と責任

自治と秩序

自治と團體生活

注意

一 協同生活の訓練に依りて自治の本義を體得せしむること

四 思慮

分別……健全なる判斷

識見

雷同を戒しむ

熟慮實踐

注意

一 他人の言説に傾聽し事理を辨へ徐に所見を立つるの風を養ふこと

五 納税

一個人としても國民としても思慮分別あるものたらしむることに力むべきこと

國家竝に地方の財政……豫算

租税

納税の義務

六 國防

國史の光輝

建軍の本義

國防と軍備

國民皆兵……兵役の義務

銃後の力

注意

一 教練科との聯絡に留意すること

七 大自然

宇宙の神祕……美・雄大・力・秩序

生物界の驚異……生の機構と營み
自然の恩恵……自然への感謝

注意

一 自然に對して敬虔の念を抱き我が生を喜び眞摯なる生活を續け行く態度を養ふこと

第三年

一 青年

青年の特性……長所・短所

青年の地位と責任……明日の建設者

若さの喜びと生活の充實……向上心・修養・現實と理想

心の動搖と心の鍛錬……自制と自重

青年の友情・協同……青年團體

注意

一 努めて青年を知り勤勞しつつ學ぶ者の立場を解し以て若き日の力と望みとを建設への喜びに導くこと

二世の中

全體と個……家と己・社會と己・國家と己

協力和合……團體生活・他人の名譽の尊重

個の力……開拓者・隠れたる努力

社會の恩

感謝報恩

注意

一 偉人の力は重んずべきも無名の人人の力のまた無視すべからざるを知らしむること

一 産業組合商工業組合等にも説き及ぼすこと

三 正義

正義感

操守

權利と義務

注意

一 内に深く正義感を抱き正しきに強き國民を養ふこと

四 裁判

裁判所：…裁判の神聖・司法権の獨立
訴訟と調停

陪審

注意

一 司法と國民との協力に説き及ぼすこと

五 學ぶ心

學ぶことの意義と尊さ

學ぶ態度：…思うて學び學びて思ふ

自己教養：…讀書尙友

働くことに依つて學ぶことの尊さ

我が國教育の現情

注意

一 読み物指導に留意すること

一 餘暇指導に留意すること

六 職業

人生と職業：…深く思うて志を立つ

職業の社會的意義

業に徹する精神

職業道德

注意

一 徒に名利を求めずよく己の境遇をも考慮して職業を選び一意之に邁進するやう導くこと

一人は職業を通じて社會に繋がるものなることを體認し自尊自重の精神を抱くに至らしむ

ること

一 職業科との聯絡に留意すること

七 日日の生

日日これ建設：…日に新なり

自覺の生活：…反省

合理化：…人力・物及時の活用・陋習打破

分度

一日の充實：…實踐躬行・習ひ性となる

注意

一日日の生を喜び且惜しみつつ意義ある生活を果敢に続け行く態度を養ふこと

第四年

一 我が國

風土

國勢の大要……國力の根源

世界に於ける地位

國土の開發

海外發展……移植民・世界市場の開拓

注意

一 國民的自覺を昂揚し進取の精神を振起すること

二 家

我が國の家族制度

戸主 家族 親族

戸籍

相續

注意

一 實際生活に即して取扱ふこと

三 婚姻

人生と婚姻

配偶の選擇

婚儀……簡素にして嚴肅・婚姻届

夫婦の道

注意

一 婚儀に於ける浪費を戒しむること

一 婚姻に關する迷信の打破に力むること

四 國法

法……團體生活と法の必要

遵法……動機と手段

法と道德

五 地方自治

地方自治體

地方自治の組織と運営……會議精神

自治と選舉

地方自治と國家生活

注意

一「自治の精神」と關聯して取扱ふこと

六 國民經濟

産業 貿易

物價

金融……信用機關

所得

消費

注意

一經濟觀念の涵養に留意すること

七 國 交

國交と平和

國際協力

國民外交

注意

一友邦の誼殊に日滿不可分の關係に説き及ぼすこと

第五年

一 大國民

我が國民性の由來

我が國民性の長所短所

國民性の涵養……大國民の理想

注意

一我が國民をして寛厚・堅忍にして而も深みある大國民たらしむることに力を致すべきこと

と

二 文 化

文化と人生……學問・藝術

國民文化の誇

我が國の文化

文化に對する憧憬

文化の創造

三 教養

品格

社會的教養並に訓練……規律・公德心

禮節………禮儀作法・言葉遣ひ

交際

常識

注意

一科學常識を養ふことの肝要なるを知らしむること

四 趣味

生活の潤

娛樂

讀書の樂しみ

趣味と修養

注意

一健全なる娛樂の指導に留意すること

五 信仰

宗教心

信仰と人格……人格の輝き・人格の力

人事を盡して天命を待つ

我が家の宗教

注意

一家庭の信仰並に其の地方の信仰との關聯に留意すること

六 住みよき社會の建設

他人の幸福を喜ぶ心 他人の長所を見る眼

現代の世相

公安……警察と公衆との協力・災害防止

博愛同情

社会事業

社会政策

注意

一先づ其の郷土を住みよき社会となすやう力めしむべきこと

七 人生の喜び

自己の社会的竝に國家的意義

人類文化に對する貢獻

人生の怡樂

人は永遠に生く

本科(男子四年制)

第一年

一 我等の郷土

協同生活……持ちつ持たれつ・先人の遺業と後進の任務

共に楽しむ喜び……年中行事

郷土の氣風……醇風美俗の涵養

郷土愛……愛郷と愛國・郷土愛と郷土の發展・發展の基礎としての郷土研究

農村と都市……兩者の特徴と相互依存・農村の振興(農民精神・産業の開發・經營法の改

善)・都市生活の改善(隣保互助精神の涵養・健全なる娛樂・都市の美化)

注意

一協同生活の實際的指導竝に訓練に特に留意すること

一年中行事は其の都度適切なる指導をなすこと

一農村に於ては農村を主として都市に、都市に於ては都市を主として農村に説き及ぼすこ

と

一都市に於ても郷土愛の涵養に力むること

二 敬神崇祖

朝夕のつとめ

氏神

神社

祭祀

注意

- 一 單なる知識の授與に止まることなく敬神崇祖の精神を體得せしむること
- 一心をこめて神事佛事等を營む風を養ふこと
- 二 「我等の郷土」に於ける「年中行事」との關聯に留意すること

三 我が家

- 家庭……人生の本據・社會人の搖籃
- 家庭愛……親子・兄弟姉妹・祖先・忠孝一本
- 家の榮え
- 家の經濟……收入・豫算・記帳・貯蓄と保險・財の活用・家の經濟と國の富

注意

- 一 樂しき家庭の建設の喜びを感じしむること
- 一 特に母の力を高調すること
- 一 一家の事のみを考ふるの弊に陥ることなきやう家と社會・國家との關聯に留意すること

四 労働

労働の尊さ

- 働くものの喜び
- 働かざることの寂しさ

五 健康

健康の尊さ

- 健全なる精神と健全なる身體
- 國民保健……國民體育と公衆衛生
- 職業と保健
- いかにして我等の健康を増進すべきか

注意

- 一 單に個人としてのみならず國民生活の上より見て健康がいかに大切なるかを會得せしむること
- 一 其の村其の町の實情を視て適切なる指導をなすこと
- 一 青年期に於ける健康の指導に留意すること

六 研究

獨創の喜び
 青年の創意
 工夫
 共同研究
 發明發見

注意

- 一 研究心は特に其の芽生に於て之が愛育に力むべきこと
- 一 常に研究工夫の用意を失はざるやう力めしむべきこと
- 一 實例としては殊に青年の輝かしき業績を擧ぐることに

七 まごころ

誠……一切の徳は誠より生ず
 至誠神に通ず

注意

- 一 まごころは處世の根本なるを體得せしむること

八 大自然

宇宙の神祕……美・雄大・力・秩序
 生物界の驚異……生の機構と營み
 自然の恩恵……自然への感謝

注意

- 一 自然に對して敬虔の念を抱き我が生を喜び眞摯なる生活を續け行く態度を養ふこと

第二年

一 我が國

天皇……皇位の繼承・御聖徳
 皇室と臣民……忠君愛國
 帝國憲法の精神

祝祭日 國歌 國旗

國勢の大要……國力の根源

世界に於ける地位

國土の開發

海外發展……移植民・世界市場の開拓

注意

- 一 日本國民たるの誇りと喜びとを感ぜしむること
- 一 國民的自覺を昂揚し進取の精神を振起すること

二 立憲政治

我が國立憲政治の由來……我が國體と立憲政治

政府

帝國議會

輿論……政黨

注意

- 一 憲政濟美に對する熱意を喚起すること
- 一 國民の政治に對する關心を喚起すること
- 一 殊に實地の訓練に依りて輿論の本質意義を體得せしむること

三 地方自治

自治の精神……自立と協同・自治と責任・自治と秩序

地方自治體

地方自治の組織と運営……會議精神

自治と選舉

地方自治と國家生活

注意

- 一 協同生活の訓練に依りて自治の本義を體得せしむること

四 思慮

分別……健全なる判斷

識見

雷同を戒しむ

熟慮實踐

注意

- 一 他人の言説に傾聴し事理を辨へ徐に所見を立つるの風を養ふこと
- 一 個人としても國民としても思慮分別あるものたらしむることに力むべきこと

五 國民經濟

産業 貿易

物價

金融……信用機關

所得

消費

注意

一 經濟觀念の涵養に留意すること

六 納税

國家並に地方の財政……豫算

租税

納税の義務

七 國防

國史の光輝

建軍の本義

國防と軍備

國民皆兵……兵役の義務

銃後の力

注意

一 教練科との聯絡に留意すること

八 國交

國交と平和

國際協力

國民外交

注意

一 友邦の誼殊に日滿不可分の關係に説き及ぼすこと

第三年

一 青年

青年の特性……長所・短所

青年の地位と責任……明日の建設者

若さの喜びと生活の充實……向上心・修養・現實と理想

心の動搖と心の鍛鍊……自制と自重

青年の友情・協同……青年團體

注意

一 努めて青年を知り勤勞しつつ學ぶ者の立場を解し以て若き日の力と望みとを建設への喜びに導くこと

二世の中

全體と個……家と己・社會と己・國家と己

協力和合……團體生活・他人の名譽の尊重

個の力……開拓者・隠れたる努力

社會の恩

感謝報恩

注意

一 偉人の力は重んずべきも無名の人人の力のまた無視すべからざるを知らしむること

一 産業組合商工業組合等にも説き及ぼすこと

三 正義

正義感

操守

權利と義務

注意

一 内に深く正義感を抱き正しきに強き國民を養ふこと

四 國法

法……團體生活と法の必要

違法……動機と手段

法と道德

五 裁判

裁判所……裁判の神聖・司法權の獨立

訴訟と調停

陪審

注意

一 司法と國民との協力に説き及ぼすこと

六 學ぶ心

學ぶことの意義と尊さ

學ぶ態度……思うて學び學びて思ふ

自己教養……讀書尙友

働くことに依つて學ぶことの尊さ

我が國教育の現情

注意

一 讀み物指導に留意すること

一 餘暇指導に留意すること

七 職業

人生と職業……深く思うて志を立つ

職業の社會的意義

業に徹する精神

職業道德

注意

一 徒に名利を求めずよく己の境遇をも考慮して職業を選び一意之に邁進するやう導くこと

一人は職業を通じて社會に繋がるものなることを體認し自尊自重の精神を抱くに至らしむること

一 職業科との聯絡に留意すること

八 日日の生

日日これ建設……日日に新なり

自覺の生活……反省

合理化……人力・物及時の活用・陋習打破

分 度

一日の充實……實踐躬行・習ひ性となる

注意

一日日の生を喜び且惜しみつつ意義ある生活を果敢に続け行く態度を養ふこと

第四年

二 大國民

我が國民性の由來

我が國民性の長所短所

國民性の涵養……大國民の理想

注意

一我が國民をして寛厚・堅忍にして而も深みある大國民たらしむることに力を致すべきこと

二文化

文化と人生……學問・藝術

國民文化の誇

我が國の文化

文化に對する憧憬

文化の創造

三教養

品格

社會的教養並に訓練……規律・公德心

禮節………禮儀作法・言葉遣ひ

交際

常識

宗教心

注意

一科學常識を養ふことの肝要なるを知らしむること

四趣味

生活の潤

娛樂

讀書の樂しみ

趣味と修養

注意

一健全なる娛樂の指導に留意すること

五家

我が國の家族制度

戸主 家族 親族

戸籍

相續

注意

一 實際生活に即して取扱ふこと

六 婚姻

人生と婚姻

配偶の選擇

婚儀……簡素にして嚴肅・婚姻届

夫婦の道

注意

一 婚儀に於ける浪費を戒しむること

一 婚姻に關する迷信の打破に力むること

七 住みよき社會の建設

他人の幸福を喜ぶ心 他人の長所を見る眼

現代の世相

公安……警察と公衆との協力・災害防止

博愛同情

社會事業

社會政策

注意

一 先づ其の郷土を住みよき社會となすやう力めしむべきこと

八 人生の喜び

自己の社會的竝に國家的意義

人類文化に對する貢獻

大生の怡樂

人は永遠に生く

本科(女子三年制)

第一年

一 我等の郷土

協同生活……持ちつ持たれつ・先人の遺業と後進の任務

共に楽しむ喜び……年中行事

郷土の氣風……醇風美俗の涵養

郷土愛……愛郷と愛國・郷土愛と郷土の發展・發展の基礎としての郷土研究

農村と都市……兩者の特徴と相互依存・農村の振興（農民精神・産業の開發・經營法の改善）

都市生活の改善（隣保互助精神の涵養・健全なる娛樂・都市の美化）

注意

一協同生活の實際的指導並に訓練に特に留意すること

一年中行事は其の都度適切なる指導をなすこと

一農村に於ては農村を主として都市に、都市に於ては都市を主として農村に説き及ぼすこと

と

一都市に於ても郷土愛の涵養に力むること

二 敬神崇祖

朝夕のつとめ

氏神

神社

祭祀

注意

一單なる知識の授與に止まることなく敬神崇祖の精神を體得せしむること

一心をこめて神事佛事等を營む風を養ふこと

一「我等の郷土」に於ける「年中行事」との關聯に留意すること

三 我が家

家庭……人生の本據・社會人の搖籃

家庭愛……親子・兄弟姉妹・祖先・忠孝一本

家の榮え

家の經濟……家の經濟と國の富

戸主 家族 親族

戸籍

相續

注意

一樂しき家庭の建設の喜びを感じしむること

一一家の事のみを考ふるの弊に陥ることなきやう家と社會・國家との關聯に留意すること

- 一 法制は實際生活に即して取扱ふこと
- 一 家事及裁縫科との聯絡に留意すること

四 職業

人生と職業……職業の社會的意義
 勞働の尊さ

働くものの喜び
 働かざることの寂しさ

注意

一人は職業を通じて社會に繋がるものなることを體認し自尊自重の精神を抱くに至らしむること

一 職業科との聯絡に留意すること

五 健康

健康の尊さ

健全なる精神と健全なる身體

國民保健……國民體育と公衆衛生

職業と保健

いかにして我等の健康を増進すべきか

注意

一 單に個人としてのみならず國民生活の上より見て健康がいかに大切なるかを會得せしむること

一 其の村其の町の實情を視て適切なる指導をなすこと

一 青年期に於ける健康の指導に留意すること

六 學ぶ心

學ぶことの意義と尊さ

學ぶ態度……思うて學び學びて思ふ

研究心……工夫・研究

自己教養……讀書

働くことに依つて學ぶことの尊さ

我が國教育の現情

發明發見

注意

- 一 研究心は特に其の芽生に於て之が愛育に力むべきこと
- 一 常に研究工夫の用意を失はざるやう力めしむべきこと
- 一 發明發見の實例としては殊に青年の輝かしき業績を擧ぐることに留意すること
- 一 餘暇指導に留意すること

七 まごころ

誠……一切の徳は誠より生ず

至誠神に通ず

注意

- 一 まごころは處世の根本なるを體得せしむること

八 日日の生

自然と人生……大自然・自然の恩恵

日日これ建設……日日に新なり

自覺の生活……反省

合理化……人力・物及時の活用・陋習打破

分一度

一日の充實……實踐躬行・習ひ性となる

注意

- 一 自然に對して敬虔の念を抱かしむること
- 一 日日の生を喜び且惜しみつつ意義ある生活を果敢に續け行く態度を養ふこと

第二年

一 我が國

天・皇……皇位の繼承・御聖徳

皇室と臣民……忠君愛國

帝國憲法の精神

祝祭日 國歌 國旗

國勢の概要……國力の根源

我が國の文化……文化と人生

世界に於ける地位

文化の創造

國土の開發

海外發展……………移植民・世界市場の開拓

注意

一日本國民たるの誇りと喜びとを感ぜしむること

一國民的自覺を昂揚し進取の精神を振起すること

二 立憲政治

我が國立憲政治の由來……………我が國體と立憲政治

政 府

帝國議會

輿 論……………政黨

注意

一憲政濟美に對する熱意を喚起すること

一國民の政治に對する關心を喚起すること

一殊に實地の訓練に依りて輿論の本質意義を體得せしむること

三 地方自治

自治の精神……………自立と協同・自治と責任・自治と秩序

地方自治體

地方自治の組織と運營……………會議精神

自治と選舉

地方自治と國家生活

注意

一協同生活の訓練に依りて自治の本義を體得せしむること

四 正義

正義感

操 守

權利と義務

注意

一内に深く正義感を抱き正しきに強き國民を養ふこと

五 國法

法……團體生活と法の必要

遊法……動機と手段

法と道徳

裁判……裁判所・訴訟と調停・陪審

注意

一司法と國民との協力に説き及ぼすこと

六 國民經濟

産業 貿易

物價

金融……信用機關

所得

消費

注意

一經濟觀念の涵養に留意すること

七 納税

三 國家並に地方の財政……豫算

租税

納税の義務

八 國防と國交

國防と軍備

國民皆兵……兵役の義務

統後の力

國交と平和

國際協力

國民外交

注意

一友邦の誼殊に日滿不可分の關係に説き及ぼすこと

第三年

一 大國民

我が國民性の由來

我が國民性の長所短所

國民性の涵養……大國民の理想

注意

一我が國民をして寛厚堅忍にして而も深みある大國民たらしむることに力を致すべきこと

二 青年

青年の特性……長所・短所

青年の地位と責任……明日の建設者

若さの喜びと生活の充實……向上心・修養・現實と理想

心の動搖と心の鍛錬……自制と自重

青年の友情・協同……青年團體

注意

一努めて青年を知り勤勞しつつ學ぶ者の立場を解し以て若き日の力と望みとを建設への喜びに導くこと

三 世の中

全體と個……家と己・社會と己・國家と己

協力和合……團體生活・他人の名譽の尊重

個の力……開拓者・隠れたる努力

社會の恩

感謝報恩

注意

一偉人の力は重んずべきも無名の人人の力のまた無視すべからざるを知らしむること
一産業組合商工業組合等にも説き及ぼすこと

四 教養

品格

社會的教養並に訓練……規律・公德心

禮節……禮儀作法・言葉遣ひ

交際

常識

趣味……生活の潤・娛樂・讀書の楽しみ

宗教心

注意

一 科學常識を養ふことの肝要なるを知らしむること
一 健全なる娛樂の指導に留意すること

五 婦徳

貞淑と聰明

思慮分別……熱慮實踐

良き妻

母の尊さ

六 婚姻

人生と婚姻

配偶の選擇

婚儀……簡素にして嚴肅・婚姻届

夫婦の道

注意

一 婚儀に於ける浪費を戒しむること

一 婚姻に關する迷信の打破に力むること

七 住みよき社會の建設

他人の幸福を喜ぶ心 他人の長所を見る眼

現代の世相

公安……警察と公衆との協力・災害防止

博愛同情

社會事業

社會政策

注意

一 先づ其の郷土を住みよき社會となすやう力めしむべきこと

八 人生の喜び

自己の社會的竝に國家的意義

人類文化に對する貢獻

人生の怡樂

人は永遠に生く

本科(女子二年制)

第一年

一 我等の郷土

協同生活……持ちつ持たれつ・先人の遺業と後進の任務

共に楽しむ喜び……年中行事

郷土の氣風……醇風美俗の涵養

郷土愛……愛郷と愛國・郷土愛と郷土の發展・發展の基礎としての郷土研究

農村と都市……兩者の特徴と相互依存・農村の振興(農民精神・産業の開發・經營法の改

善)・都市生活の改善(隣保互助精神の涵養・健全なる娛樂・都市の美化)

注意

一協同生活の實際的指導竝に訓練に特に留意すること

一年中行事は其の都度適切なる指導をなすこと

一農村に於ては農村を主として都市に、都市に於ては都市を主として農村に説き及ぼすこ

と

一都市に於ても郷土愛の涵養に力むること

二 敬神崇祖

朝夕のつとめ

氏神

神社

祭祀

注意

一單なる知識の授與に止まることなく敬神崇祖の精神を體得せしむること

一心をこめて神事佛事等を營む風を養ふこと

一「我等の郷土」に於ける「年中行事」との關聯に留意すること

三 我が家

家庭……人生の本據・社會人の搖籃

家庭愛……親子・兄弟姉妹・祖先・忠孝一本

家の榮え

家の經濟……家の經濟と國の富

戸主 家族 親族

戸籍

相續

注意

- 一 樂しき家庭の建設の喜びを感じしむること
- 一 一家の事のみを考ふるの弊に陥ることなきやう家と社會・國家との關聯に留意すること
- 一 法制は實際生活に即して取扱ふこと
- 一 家事及裁縫科との聯絡に留意すること

四 青年

- 青年の特性……………長所・短所
- 青年の地位と責任……………明日の建設者
- 若さの喜びと生活の充實……………向上心・修養・現實と理想
- 心の動搖と心の鍛錬……………自制と自重
- 青年の友情・協同……………青年團體

注意

一 努めて青年を知り勤勞しつつ學ぶ者の立場を解し以て若き日の力と望みとを建設への喜びに導くこと

五 職業

- 人生と職業……………職業の社會的意義
- 勞働の尊さ
- 働くものの喜び
- 働かざることの寂しさ

注意

一人は職業を通じて社會に繋がるものなることを體認し自尊自重の精神を抱くに至らしむること

六 健康

- 健康の尊さ
- 健全なる精神と健全なる身體
- 國民保健……………國民體育と公衆衛生

職業と保健

いかにして我等の健康を増進すべきか

注意

- 一 単に個人としてのみならず國民生活の上より見て健康がいかに大切なるかを會得せしむること
- 一 其の村其の町の實情を視て適切なる指導をなすこと
- 一 青年期に於ける健康の指導に留意すること

七 世の中

- 全體と個……家と己・社會と己・國家と己
- 協力和合……團體生活・他人の名譽の尊重
- 個の力……開拓者・隠れたる努力
- 社會の恩
- 感謝報恩

注意

一 偉人の力は重んずべきも無名の人人の力のまた無視すべからざるを知らしむること

一 産業組合商工業組合等にも説き及ぼすこと

八 學ぶ心

- 學ぶことの意義と尊さ
- 學ぶ態度……思うて學び學びて思ふ
- 研究心……工夫・研究
- 自己教養……讀書
- 働くことに依つて學ぶことの尊さ
- 我が國教育の現情
- 發明發見

注意

- 一 研究心は特に其の芽生に於て之が愛育に力むべきこと
- 一 常に研究工夫の用意を失はざるやう力めしむべきこと
- 一 發明發見の實例としては殊に青年の輝かしき業績を擧ぐることに読み物指導に留意すること
- 一 餘暇指導に留意すること

九 教養

品格

社會的教養並に訓練……規律・公德心

禮節………禮儀作法・言葉遣ひ

交際

常識

趣味………生活の潤・娯樂・讀書の樂しみ

宗教心

注意

一 科學常識を養ふことの肝要なるを知らしむること

一 健全なる娯樂の指導に留意すること

十 まごころ

誠……一切の徳は誠より生ず

至誠神に通ず

注意

一 まごころは處世の根本なるを體得せしむること

十一 日日の生

自然と人生……大自然・自然の恩恵

日日これ建設……日に新なり

自覺の生活……反省

合理化………人力・物及時の活用・陋習打破

分度

一日の充實……實踐躬行・習ひ性となる

注意

一 自然に對して敬虔の念を抱かしむること

一 日日の生を喜び且惜しみつつ意義ある生活を果敢に續け行く態度を養ふこと

第二年

一 我が國

天皇………皇位の繼承・御聖徳

皇室と臣民………忠君愛國

帝國憲法の精神

祝祭日 國歌 國旗

國勢の概要……國力の根源

我が國の文化……文化と人生

世界に於ける地位

文化の創造

國土の開發

海外發展………移植民・世界市場の開拓

注意

一日本國民たるの誇りと喜びとを感ぜしむること

一國民的自覺を昂揚し進取の精神を振起すること

二 大國民

我が國民性の由來

我が國民性の長所短所

國民性の涵養……大國民の理想

注意

一我が國民をして寛厚・堅忍にして而も深みある大國民たらしむることに力を致すべきこと

と

三 政治

我が國立憲政治の由來……我が國體と立憲政治

政府

帝國議會

輿論………政黨

地方自治………自治の精神・地方自治體・自治と選舉

地方自治の組織と運営……會議精神

地方自治と國家生活

注意

一國民として政治に對する關心の必要なるを知らしむること

一協同生活の訓練に依りて自治の本義を體得せしむること

四 國法

正義……正義感・操守・權利と義務

法……團體生活と法の必要

遵法……動機と手段

法と道德

裁判……裁判所・訴訟と調停・陪審

注意

一内に深く正義感を抱き正しきに強き國民を養ふこと

五 國民經濟

産業 貿易

物價

金融……信用機關

所得

消費

注意

一經濟觀念の涵養に留意すること

六 納税

國家並に地方の財政……豫算

租税

納税の義務

七 國防と國交

國防と軍備

國民皆兵……兵役の義務

銃後の力

國交と平和

國際協力

國民外交

注意

一友邦の誼殊に日滿不可分の關係に説き及ぼすこと

八 婦徳

貞淑と聰明

思慮分別……熟慮實踐

良き妻

母の尊さ

九 婚姻

人生と婚姻

配偶の選擇

婚儀……簡素にして嚴肅・婚姻届

夫婦の道

注意

一 婚儀に於ける浪費を戒しむること

一 婚姻に關する迷信の打破に力むること

十 住みよき社會の建設

他人の幸福を喜ぶ心 他人の長所を見る眼

現代の世相

公安……警察と公衆との協力・災害防止

博愛同情

社會事業

社會政策

注意

一 先づ其の郷土を住みよき社會となすやう力めしむべきこと

十一 人生の喜び

自己の社會的竝に國家的意義

人類文化に對する貢獻

人生の怡樂

人は永遠に生く

實施上の注意

一 何れの事項も常に教育に關する勅語の旨趣を體して取扱ふべし

二 修身及公民科は二にあらざると知るべし例へば「國法」に於ても修身の訓を説き「まごころ」に於ても公民の道を示すの用意あるべきなり

三 本要目に示したる所は凡て國民必須の事項なれば妄に省略すべからず實情に即して繁簡宜し

- きを制し以て實生活に適切ならしめんことを要す
- 四 本要目は之を自在に活用し日新の社會に適應せしむべし
- 五 本要目は農村用都市用の別を設けずされば其の運用に於て農村又は都市の實情に適切ならしめんことを要す
- 六 本科男子に於ける教授及訓練期間を二年又は三年と爲したる場合の要目は本要目に準據し土地の情況に依り適切に定むべし
- 七 研究科及専修科の要目は本要目を參酌し土地の情況に依り適切に之を定むべし
- 八 教材は努めて之を統合的に取扱ひ次第に一層基本的なるものに歸一せしむべし
- 九 今之を本科男子五年制に就て例示せん即ち第一年に於ては多數の事項を七題目に統合して取扱ふと共に更に之等を一の「郷土愛」に統一し同様にして第二年「祖國愛」に第三年「青年」に第四年「國民生活」に第五年「大國民」に歸一せしむるが如し
- 十 相關聯せる題目又は要項にして之に先つものの發展として後に來るものに就ては其の聯繫を會得せしむるに留意すべし
- 十一 實生活の指導を眼目となすされば常に體驗を重んじ修練を旨とすべし知識の授與に止まるべからず

十一 勤勞青年の純情をそこなふことなく其の天稟素質の啓發助長に力むべし

十二 眞に青年を知り勤勞しつつ學ぶ者の立場を解するは難し指導の任に在るもの日夜研鑽工夫を要する所以なり

家事及裁縫科

- 一 家事と裁縫とを統合して「家事及裁縫科」なる一科とし實際生活に即して堅實なる家庭生活を營むの能力を啓培することを眼目としたり
- 二 普通科に在りては家事裁縫及手藝に就き其の基本的なる教材を選び本科に在りては普通科に於ける家事及裁縫科並に高等小學校に於ける家事及裁縫の教材に關聯して其の發展たるやう留意したり
- 三 教材の分量に就ては青年學校に於ける家事及裁縫科の教授及訓練時數の實情に鑑み普通科に在りては各年九十時計百八十時本科に在りては各年九十時計二百七十時を豫定して之を定めたり
- 四 右に掲ぐる教授及訓練時數より多くの時數を課する青年學校の爲増課教材を擧げたり
- 五 本要目の教材は青年學校の實情に鑑み其の選擇を適切ならしむる爲普通科及本科に配當する

に止め之を各年に配當せず
 五 教材は難易の順序に依らず便宜上衣服・食物・住居・衛生看護・育兒・敬老及一家の經濟に區分して之を排列したり

普通科

題目	豫定 時數	要項	備考
衣服			
一 衣類の着方	二	二 日常衣類の着方 正しき着方の實習	一 衛生上・經濟上・容儀上・趣味上等の注意を與ふること
一 下着	六	六 下着の特質 材料の選び方 裁縫實習	一 襦袢・下穿の類を選ぶこと
一 幼兒服	八	八 幼兒服の特質 裁縫實習	一 ロンパースの類を選ぶこと
一 白木綿類の洗濯	四	四 肌襦袢・割烹着等の洗濯	一 材料により糊附を行ふこと

一 大裁單長着	二〇	二〇 材料の選び方 綿織物の裁縫實習	一 手伸仕上又はアイロン仕上とすること
一 木綿類の全洗	三	三 單長着の全洗 仕上實習	一 敷伸仕上又はアイロン仕上とすること
一 大裁袷長着	二二	二二 材料の選び方 綿織物の裁縫實習	
一 帶	六	六 長着との關係 材料の選び方 裁縫實習	
一 木綿類の解洗の補綴	八	八 冬着類の解洗 補綴	一 板張仕上とすること
一 女兒服	一〇	一〇 女兒服の特徵 仕上實習	

一 帽子

一 大裁衿羽織

五 裁縫實習
服との調和
製作實習

一 布製又は編物製とすること

一 人絹類の洗濯

一八 長着との關係
材料の選び方
仕立直しの注意
裁縫實習

一 アイロン仕上又は湯伸仕上とすること

一 小裁綿入長着

二 半襟の洗濯
仕上實習
一六 材料の選び方
綿の取扱方
裁縫實習

一 財布

三 製作實習

一 布製又は編物製とすること
一なるべく有合はせの材料を使用すること

食物

一 主なる日常食品

四 乳(蛋白質・脂肪・炭水化物)

灰分・水分・ビタミン

米(粳・糯・玄米・白米等)

麥・豆

蔬菜・果物

卵・魚・肉

一 食品の營養價に就き簡単に説明すること

一 食物の調理と清潔

二 身仕度
調理用具

食器

調理材料

一 調理實習

二〇 飯

味噌汁

煮メ

浸物

一 調理實習に就てはなるべく手数
を要すること少きものを選ぶこと
一 經濟上の考慮をなすこと

一 取合はせに就き注意すること

住居
一 掃除

- 二 掃除の大切
- 掃除用具
- 揚物
- お萩
- すし
- 酢物
- 味附飯
- 和物(胡麻和)
- 蔬菜の即席漬
- 焼魚
- 煮魚
- 卵料理
- 飯の代用食
- 澄汁

一 日常の掃除に關聯して取扱ふこと

一 住居と保健

- 身仕度
- はたき掃除
- 掃き掃除
- 拭き掃除(濕・乾)
- 洗ひ掃除
- 三 日當り
- 通風
- 防暑
- 防寒
- 防濕
- 下水掃除
- 四 日光
- 空氣
- 運動

衛生 看護

一 健康増進

一 應急手當

育兒

一 子守の仕方

休息

睡眠

身體の清潔

食物

健康の判断

三 切傷

擦りむき

とげ

蟲さされ

鼻血

打身

火傷

中毒

四 抱き方

背負ひ方

鼻のふき方

便の注意

着物の着せ方

襦袢の當て方

泣く兒の扱ひ方

遊ばせ方

子守歌

玩具

哺乳器等の扱ひ方

睡眠

運動

一 慰安

老人の衣食住

敬老

一 敬老

一家の経済

一 現金出納帳の付け方

四 現金出納記入の必要

現金出納帳の形式

現金出納帳の付け方

付け方練習

一 常に食物調理實習の記帳・小遣帳の記入等を行はしむること

衣服

増課教材

(衣類整理)

一 繊維と織物

一 白木綿の漂白及仕上

一 麻織物の洗濯仕上

一 人造絹絲織物及其の交織物の洗濯仕上

一 絹織物の洗濯仕上

一 毛織物の洗濯仕上

(裁縫)

一 大裁單長着(綿織物)

一 中・小裁單長着

一 大裁袷長着

一 中・小裁袷長着

一 速縫(大裁單長着)

一 大裁袷長襦袢

一 半襦袢

一 肌襦袢

一 大裁袷羽織

一 袖無綿入羽織

一 半纏

一 合はせ帯

一 名古屋帯

一 仕事着

一 婦人服(平常用)

- 一 女児服
 - 一 幼児服(男・女)
 - 一 下着
 - 一 エプロン
 - 一 帽子
 - 一 寝冷え知らず
 - 一 子供用寝巻
 - (編物)
 - 一 幼児足袋
 - 一 足袋カバー
 - 一 胴着
- 食物
- 一 飯(麦飯・菜飯・いも飯・豆飯・油揚飯)
 - 一 味噌汁(呉汁・薩摩汁・けんちん汁)
 - 一 煮メ

- 一 うどん
 - 一 そば
 - 一 澄汁
 - 一 浸物
 - 一 煮魚・焼魚
 - 一 わらび・ぜんまい・其他野生の蔬菜調理
 - 一 蒸物
 - 一 酢物
 - 一 和物(味噌和)
 - 一 揚物(蔬菜・魚・肉)
 - 一 漬物(鹽漬)
 - 一 卵焼
 - 一 菓子(小豆餡の作り方)
- 住居
- 一 塵拂の作り方

- 一 暖房設備
- 一 電燈・ランプ
- 一 畳・建具の手入
- 衛生 看護
- 一 幼児の罹り易き病氣
- 育 兒
- 一 危険なる玩具の注意
- 一 危険なる食物の注意
- 一家の經濟
- 一 帳簿の付け方(小遣帳其の他)
- 一 消費の合理化

本科

衣服

- 一 大裁單長着

豫定
時數

- 一三 材料の選び方

要

項

備

考

一材料は厚地にても薄地にても

可なること

- 一 衣服の手入保存

- 二 日常の手入

厚地・薄地の取扱方
裁縫實習

蟲干と防蟲

容器

藏ひ方

適宜實習

- 七 解洗

補綴

仕上實習

一材料は綿織物又は絹織物毛

織物・交織物とすること

一板張或はアイロン仕上とする

こと

一洗濯劑・仕上糊等は藥品使用
に馴れしむるの外地方的の材
料を併用すること

- 一 冬着の解洗と補綴

- 一 大裁給長着

- 一六 材料の選び方

一 襦袢

仕立直しの注意
裁縫實習

八 長着との関係

材料の選び方

裁替・仕立替の注意

袷長襦袢の裁縫實習

一 仕事着

一〇 仕事と服装

材料と選び方

裁縫實習

一 肩掛(編物製又は布製)

五 材料の選び方

製作實習

一 帯

五 長着との関係

材料の選び方

裁縫實習

一 冬着の解洗と補綴

四 解洗

一 材料は絹織物又は綿織物・交

織物とすること

一 しんし張はアイロン仕上とする
ること

二 大裁袷羽織

一〇 長着との関係

材料の選び方

仕立直しの注意

裁縫實習

一 婦人服(平常用)

一三 婦人服(平常用)の特質

材料の選び方

裁縫實習

一 男児服

一五 男児服の特徴

材料の選び方

裁縫實習

一 覆類(小布細工又は簡単なる刺繡)

七 座蒲團覆・テーブル掛・炬燵

掛・帛紗類

一 なるべく有合せの材料を利用
すること

一 編物・半襟の洗濯

製作實習
二 編物の全洗又は解洗(補綴)
半襟の洗濯
仕上實習

一 湯伸仕上とすること
一 揮發油の性質及其の取扱方を
知らしむること

二 中・小裁羽織(袷又は
綿入)

二 長着との關係
材料の選び方
綿の取扱方
裁縫實習

一 型はブラウスとスカートとす
ること

二 婦人服(平常用)

一六 ツーピース型の特質
材料の選び方
裁縫實習

二 汚點拔

二 汚點拔一般の注意
泥土・墨・黒インキ・汗・血液
等の汚點拔實習

二 附屬品の手入保存

靴等とすること

一 日常の手入

藏ひ方
適宜實習

一 大裁單羽織

一一 長着との關係
材料の選び方
裁縫實習

一 寢具・座蒲團

一二 寢具と衛生
材料の選び方
綿の取扱方
寢具又は座蒲團の裁縫實習

一 大裁コート

一四 コートの特質
材料の選び方
裁縫實習

一 手提袋又はハンドバ
ッグ(小布細工・簡單
なる刺繡又は編物)

五 製作實習

一 なるべく有合はせの材料を利
用すること

一 服装

二 禮服

一 禮服はなるべく學校に備付く
ること

平常服

仕事服

附屬品

適宜着方實習

食物

一 食品の取合はせ

二 栄養素

食品の成分

保健食

一 國民の健康増進に就き説明す
ること
一 調味料に就ては調理實習の際
便宜説明すること

一 調理法概説

二 生物・煮る・蒸す・焼く・揚げ
る・炊く

二 燃料

二 燃料の種類
選び方

使ひ方

一 食物調理

三〇 豆の調理

小魚の調理

糠味噌漬

酢物

煮メ

潮汁

和物(胡麻和・味噌和)

川魚調理

揚物

小魚の佃煮

菓子

蒸物

あんかけ物

海藻の調理

蔬菜の油煎

一 地方的料理を重視し之等に就
き食品の取合はせ上の吟味を
なし改善を要する點あらば之
が指導をなすこと

- 味噌汁
- 赤飯
- 五目飯
- 茸の調理
- 蓬團子
- 蔬菜の酢物
- 生蔬菜
- 炒飯
- 寄せ物
- すし
- 漬物類 (梅干・菹漬・菜漬・澤庵漬)
- 肉の調理
- 貝の調理
- 井飯

住居

- 一 住居の手入
- 一 給水と排水
- 一 住宅の改善

- 辨當料理
- 節句料理
- 飲料
- 客用膳部 (吉・凶)
- 正月料理
- 鍋料理
- 二 障子・襖の修理
- ニス・ペンキの塗替
- 屋根の小修理
- 垣根の手入
- 二 衛生的井戸
- 飲料水の改善
- 排水の改善
- 四 室の使ひ方

一 住居に關する災害豫防

衛生 看護

一 醫師を招くまで

臺所

風呂

便所

宅地の利用

防暑・防寒の設備改善

附屬舎の改善

一 耐震

耐風

防火

戸締り

一 招くまでの心得

體温

脈搏

病床

病室

三 薬用

家庭常備薬

容態表

吸入

番法

灌腸

繃帯用法

應急手當

二 病人と食物

飲食物の與へ方

病人食實習

一 婦人衛生

主なる傳染病

二 傳染病の豫防

一 薬用及手當

一 病人の食物

一 婦人衛生

一 傳染病

育 兒

一 新生兒及乳兒の哺育

二 發育

母乳哺育

人工哺育

離乳

齒

睡眠

運動

二 玩具

お話

繪本

遊ばせ方

躑げ方

二 食物

傳染病に罹りたるときの心得

一 乳幼児の食物調理に聯絡して

一 幼児の保育

一 幼児の養育

課すること

一 幼児服に聯絡して課すること

一 乳幼児の食物調理

二 乳幼児の食物

調理實習

二 消化不良・感冒・肺炎・百日

咳・チフテリア・疫痢・麻

疹・天然痘

敬 老

一 敬老

二 敬老・慰安・娛樂

衣服・食物・居室・運動・休息

按摩・マッサージ

一家の經濟

一 一家の收入と支出

一 婦人と一家の經濟

<ul style="list-style-type: none"> 一 買物の仕方・消費の合理化 	<ul style="list-style-type: none"> 一 収入の種類 二 収入の安定 	<ul style="list-style-type: none"> 一 節約は金銭の節約に止めず眞に物を生かして使用せしむるやう留意すること 一 公共の物の消費に就き特に注意するやう指導すること 一 分度生活の確立に力めしむること
<ul style="list-style-type: none"> 一 豫算生活 	<ul style="list-style-type: none"> 二 其の地方に於ける買物の仕方及其の改善 二 消費組合 二 消費の合理化 二 消費の進歩と婦人の責務 	<ul style="list-style-type: none"> 一 一家の生活標準 二 豫算の組み方 二 豫算の實行と決算
<ul style="list-style-type: none"> 一 家計簿記 	<ul style="list-style-type: none"> 四 家計簿記の目的 帳簿 記入練習 決算 	

<ul style="list-style-type: none"> 一 貯蓄・保険 	<ul style="list-style-type: none"> 二 貯蓄の必要 貯蓄の種類 保険の必要 保険の種類 	
<ul style="list-style-type: none"> 女子と家事 一 女子と家事 	<ul style="list-style-type: none"> 一 女子と家事 生活の合理化 家庭生活と人生 家庭と國家 	<ul style="list-style-type: none"> 一 修身及公民科と聯絡して課すること

増課教材

衣服

(衣類整理)

- 一 簡易なる家庭染色及色揚
- (染色は衣服材料の廢物利用を主としたる染色・色揚に止むること)
- 一 寢具の手入實習

- 一 各種洗濯仕上實習
- 一 ソフトカラー・ワイシャツ等の洗濯及仕上
- 一 板張仕上・しんし張仕上・湯伸仕上
- 一 洗濯劑
- (裁縫)
- 一 大裁單長着
- 一 中・小裁單長着
- 一 大裁袷長着
- 一 中・小裁袷長着
- 一 中・小裁綿入長着
- 一 大裁綿入長着
- 一 丹前又は襦袍
- 一 大裁袷長襦袢
- 一 大裁單長襦袢
- 一 大裁袷羽織

- 一 大裁單羽織
- 一 大裁綿入羽織
- 一 子守半纏
- 一 合はせ帯
- 一 改良帯(名古屋帯・組合はせ帯等)
- 一 丸帯
- 一 袴
- 一 コート
- 一 仕事着
- 一 重ね
- 一 寝具・座蒲團
- 一 速縫(大裁袷長着・大裁袷羽織)
- 一 婦人服(平常用)
- 一 女兒服
- 一 男兒服

- 二 幼兒服
- 二 下着
- 一 子供用外套類
- (編物)
- 一 子供帽子
- 一 足袋カバー
- 二 靴下
- 一 肩掛
- 二 ケープ
- 一 セーター又はシャツ
- 一 下穿
- (刺繻)
- 一 手提又はハンドバッグ
- 一 テーブル掛
- 二 座蒲團覆

- 一 帯
- 一 半襟
- (袋物)
- 一 ハンドバッグ
- 一 紙入
- 一 鏡掛
- (染色)
- 一 絞染(風呂敷・帯止・鏡掛等)
- 一 蠟染(テーブル掛・鏡掛・手提等)

食物

- 一 地方に即したる栄養研究
- 一 豆類の調理(大豆・いんげん豆・ささげ・うづら豆・そら豆・豌豆)
- 一 海藻の調理(ひじき・昆布・あらめ・わかめ)
- 一 田楽(豆腐・里いも・魚)
- 一 なすしぎ焼

- 一 串焼魚(鹽焼・照焼・つけ焼)
- 一 カレーライス
- 一 味噌汁(納豆汁・粕汁)
- 一 のつべい汁
- 一 蒸麺麭
- 一 酢物
- 一 和物(白和・くるみ和・落花生和・枝豆和)
- 一 汁粉(ぜんざい)
- 一 潮汁(貝類・魚)
- 一 菓子(かりんとう・磯松風・葛饅頭・きんつば・ドーナツ・薩摩いも菓子)
- 一 寄せ物(寒天・ゼラチン寄せ物)
- 一 蒸物(茶碗むし・其他)
- 一 揚物(からあげ・フライ・コロッケ・カツレツ)
- 一 あんかけ物(酢あん・味噌あん)
- 一 飲料(甘酒・梅酒・果汁)

- 一 川魚調理(鯉・鰻・鮒・鱒)
- 一 飯(肉飯・筍飯・きのこ飯・栗飯・貝飯)
- 一 澄汁
- 一 肉の調理(鳥肉の煮方・焼方)
- 一 貝の調理(酢物・煮方)
- 一 佃煮
- 一 ジャム
- 一 わらび・ぜんまい・其他野生の蔬菜調理
- 一 鳥の作り方
- 一 刺身(刺身・あらひ)
- 一 煮込(スチューウ・おでん)
- 一 サンドウキッチ
- 一 漬物(からし漬・麩漬・粕漬・味噌漬)
- 一 餅(餅・豆餅・蓬餅・かき餅・大福餅)

住居

- 一 硝子障子と紙障子
 - 一 引き戸と開き戸
 - 一 蠅除け・蚊燻し・防鼠・驅蟲
 - 一 室内の明るさ・良き照明法
 - 一 椅子・腰掛
 - 一 住宅の耐久施設
 - 一 地方に即したる住宅改善研究
- 衛生 看護
- 一 地方特有の病氣
 - 一 家庭常備藥
 - 一 繻帶用法
 - 一 應急手當
 - 一 病人食調理實習
- 育兒
- 一 小兒の惡癖

- 一 目・鼻・耳・口腔の衛生
 - 一 乳幼兒及小兒の入浴
 - 一 健康相談
 - 一 託兒所
 - 一 乳幼兒の食物調理實習
- 敬老
- 一 按摩・マッサージ
- 一家の經濟
- 一 家計簿記
 - 一 住宅組合
 - 一 浪費排除(冠婚葬祭等)
 - 一 負債・公設質屋
 - 一 産業組合
 - 一 無盡
 - 一 郵便貯金

- 一 銀行預金
- 一 生命保險
- 一 簡易生命保險
- 一 郵便年金
- 一 健康保險
- 一 火災保險

實施上の注意

- 一 家事裁縫及手藝に關する教材は互に聯絡して教授及訓練を爲すべし
- 二 教材は凡て家庭生活を營むに須要の事項を選択したるものなるも土地の情況に應じ適宜取捨するを妨げず
- 三 題目及要項に就ては何れの地方に於ても實施し得るやう一般的に示したるを以て之が取扱に當りては土地の情況に應じ精粗宜しきを制し實際生活に適切ならしむることに力むべし
- 四 本要目は農村用都市用の別を設けずされば其の運用に於て農村又は都市の實情に適切ならしめんことを要す
- 五 本要目は必ずしも取扱の順序を示したるものにあらず土地の情況季節の關係等を考慮し適當

に教材を排列するを要す

- 六 教材の取扱に際しては常に生徒の體驗に基き生活の改善に就き考究せしむることに力むべし
- 七 教授及訓練に當りては特に實驗實習を重んじ研究的態度を確立せしむることに力むべし
- 八 本要目の豫定時數は學校に於て指導すべき時數なるを以て家庭の實習と相俟ちて其の徹底を期すべし
- 九 本要目の取扱に就ては常に衛生上・經濟上・容儀上及趣味上より考慮し指導の適切を期すべし
- 十 衣服に關する事項に就ては
 - (一) 裁縫は衣類の手入・保存・洗濯等と緊密に聯絡して取扱ふべし
 - (二) 特に仕立直・仕立替・小布の利用等を奨勵し生徒自ら進んで工夫活用の實を擧げしむることに力むべし
 - (三) 手藝は生徒の實際生活に即し徒に華美に流れざるやう留意すべし
 - (四) 既製品に對する鑑識眼の養成に力むべし
- 十一 食物住居等に關する事項に就ては常に健康の増進を圖ることに留意して取扱ふべし
- 十二 育兒に關する事項はなるべく生徒の現在の生活に於て經驗せしむるやう留意すべし
- 十三 一家の經濟に關する事項に就ては豫算生活を爲さしむるやう指導することに留意すべし

十四 家事及裁縫科に於ては生徒をして喜んで家庭生活の整理と改善とに當るの習慣を養ふことに力むべし

體操科

- 一 體操科の教材は青年學校の特質に鑑み簡明にして運動量多く興味深き種目を選び且運動の分類を簡單にせり
- 二 體操科の教材は青年學校規程第八條の時數に準據し主として基本的なるものを選択したり故に教授及訓練時數多き場合に在りては之を反覆練習せしむるものとす
- 三 體操科の教材は男子には鍛鍊的種目を女子には保健整容的種目を多く配當し以て男女の特質を發揮せしむることに力めたり
- 四 體操の教材は生徒の職業等に因る固癖を矯正する必要上多く伸展運動を採擇せり
- 五 青年學校生徒の境遇に鑑み各年の教材中より夫夫一聯の體操を組立て以て日常生活の中に實行を容易ならしめんことを期せり
- 六 教練は團體訓練に必要な基本的教材を選び主として正確敏捷なる動作を修練せしめんとす
- 七 競技の教材は走・跳・投の中より適當なるものを選び兼ねて運動能力検査に資せしめんとす

八 遊戯は主として我が國在來の運動種目中體育的效果大にして青年の志氣を鼓舞するに足るものを探擇するに力めたり

九 唱歌遊戯及行進遊戯は教育的にして興味深く且個人的にも團體的にも行ひ得るものを選択せり
普通科(男子)

體操(其ノ一)

頸	肢	下	第 一 年	第 二 年
頭前後(側)屈 頭側轉 頭廻旋	兩膝屈伸 片膝屈伸	臂脚側舉振 臂側脚前舉振 臂側舉振屈膝舉股 臂前(側)舉振舉踵屈膝 臂前上舉振舉踵屈膝	手腰開脚 手腰開脚 手腰開脚	臂上脚後舉振 臂斜上舉振屈膝舉股 臂側斜上舉振舉踵屈膝 臂前上舉振舉踵屈膝 臂上舉屈膝足側(前)出 片膝屈伸 兩膝屈伸
手腰開脚 手腰開脚 手腰開脚	頭前後(側)屈 頭側轉 頭廻旋	手腰開脚 手腰開脚 手腰開脚		

一	體操(其ノ二)	吸呼	迴轉及立倒・躍跳		走及步		
			第一	第二	第一	第二	
一 臂側舉振屈膝舉股 二 臂前上舉振舉踵屈膝 三 頭前後屈一側轉 四 頭迴旋	第一	臂上舉胸後反	兩脚跳 臂側舉振上方跳 臂側舉振側(後)向上方跳 跳越 臂立跳越 臂立側轉 倒立	正常步(走) 舉股步(走) 大跨步(走)	第一	一 臂斜上舉振屈膝舉股 二 臂前上舉振舉踵屈膝 三 頭前後屈一側轉 四 頭迴旋	手腰開脚 手腰開脚
一 臂斜上舉振屈膝舉股 二 臂前上舉振舉踵屈膝 三 頭前後屈一側轉 四 頭迴旋	第二	臂上舉胸後反	兩脚跳 臂側舉振側(後)向上方跳 跳越 臂立跳越 臂立側轉 倒立	正常步(走) 舉股步(走) 急步(走)	第二	一 臂斜上舉振屈膝舉股 二 臂前上舉振舉踵屈膝 三 頭前後屈一側轉 四 頭迴旋	手腰開脚 手腰開脚

背及腹	側體	垂懸	胸	上肢	
				第一	第二
臂立伏臥臂屈伸 體迴旋 體前屈前倒臂側開 臂上舉體前後屈 臂上舉體前後屈	臂側片臂上舉體側屈 片臂上舉體側屈 臂前舉片臂側開體側轉 片臂側開體側轉	蹴上 逆上 脚懸上 懸垂屈臂	足側出臂斜上舉胸後屈 臂斜上舉胸後屈	臂前上舉振 臂側斜上舉振 臂上舉上伸 臂前舉側開上舉振 臂前後迴旋	臂前上舉振 臂上舉上伸 臂前舉前屈側開上舉振 臂前後迴旋
手腰開脚	開脚 開脚 開脚 開脚 開脚	蹴上 逆上 脚懸上	臂上舉胸後屈 足側出臂上舉胸後屈	臂前上舉振 臂上舉上伸 臂前舉前屈側開上舉振 臂前後迴旋	臂前上舉振 臂上舉上伸 臂前舉前屈側開上舉振 臂前後迴旋
臂立伏臥臂屈伸 體迴旋 體前屈前倒臂上舉振 臂後迴旋體前後屈 臂上舉體前後屈	足側出臂側片臂上舉體側屈 足側出片臂側開體側轉 足側出臂前舉片臂側開體側轉 足側出片臂上舉體側屈 足側出臂側片臂上舉體側屈	蹴上 逆上 脚懸上	臂上舉胸後屈 足側出臂上舉胸後屈	臂前上舉振 臂上舉上伸 臂前舉前屈側開上舉振 臂前後迴旋	臂前上舉振 臂上舉上伸 臂前舉前屈側開上舉振 臂前後迴旋
開脚 開脚 開脚 開脚 開脚	開脚 開脚 開脚 開脚 開脚	蹴上 逆上 脚懸上	臂上舉胸後屈 足側出臂上舉胸後屈	臂前上舉振 臂上舉上伸 臂前舉前屈側開上舉振 臂前後迴旋	臂前上舉振 臂上舉上伸 臂前舉前屈側開上舉振 臂前後迴旋

教練

聯	體	操
五 臂前舉側開		
六 臂前後廻旋		
七 臂斜上舉胸後屈	開脚	
八 臂前舉片臂側開體側轉	開脚	
九 臂側片臂上舉體側屈	開脚	
一〇 臂上舉體後屈	開脚	
一一 臂前舉振舉踵屈膝	開脚	
一二 片臂側開體側轉	開脚	
一三 片臂上舉體側屈	開脚	
一四 臂上舉體前後屈	開脚	
一五 體廻旋	手腰開脚	
一六 臂前舉側開上舉振	開脚	
一七 體前屈前倒臂側開	開脚	
一八 兩脚踏		
一九 臂側舉振上方跳		
二〇 臂前舉振舉踵屈膝		
二一 臂上舉胸後反		
五 臂前舉前屈側開		
六 臂前後廻旋		
七 臂上舉胸後屈		
八 足側出臂前舉片臂側開體側轉	開脚	
九 足側出臂側片臂上舉體側屈		
一〇 臂上舉體前後屈		
一一 臂前舉振舉踵屈膝		
一二 足側出片臂側開體側轉		
一三 足側出片臂上舉體側屈		
一四 臂後廻旋體前後屈	開脚	
一五 臂體廻旋	開脚	
一六 臂前舉前屈側開上舉振	開脚	
一七 體前屈前倒臂上舉振		
一八 兩脚踏		
一九 臂側舉振側後上方跳		
二〇 臂前舉振舉踵屈膝		
二一 臂上舉胸後反		

競技及遊戲

第 一 年	第 二 年
<p>氣ヲ著ケ 休メ 集合及解散 番號 整頓 右(左)(後)向 半右(左)向 縱隊行進 駢步 止レ 足踏 伍伍右(左) 速步間右(左)(後)向</p>	<p>氣ヲ著ケ 休メ 集合及解散 番號 整頓 右(左)(後)向 半右(左)向 縱隊行進 駢步 止レ 足踏 伍伍右(左) 速步間右(左)(後)向 橫隊行進 方向ヲ換ヘ 駢步間右(左)(後)向 駢步ヨリ速步</p>

背及腹	側體	垂懸	胸	肢上
足側出臂上舉體前後屈 臂後廻旋體前後屈 體前屈前倒臂上舉振 臂體廻旋	足側出片臂側開體側轉 足側出臂前舉片臂側開體側轉 足側出片臂上舉體側屈 足側出臂側片臂上舉體側屈	懸垂跳上 懸垂振 懸垂移行	足後出臂斜上舉胸後屈 足側出臂上舉胸後屈	臂前側上舉振 臂上舉上伸 臂前舉前屈側開 臂內外廻旋
足後出臂上舉體前後屈 臂上舉體斜前後屈 臂前後廻旋體前後屈 體前屈前倒臂上舉振 臂體廻旋	足側(前)出臂前舉片臂側開體側轉 足側出片臂上舉體側屈		足後出臂上舉胸後屈 足前出臂斜上舉胸後屈	臂前側上舉振 臂上舉上伸 臂前舉前屈側開上舉振 臂內外廻旋
足前出臂上舉體前後屈 臂前後廻旋體前後屈 體前屈前倒臂上舉振 臂體廻旋	足側(前)出臂前舉片臂側開體側轉 足側出片臂上舉體側屈		足前出臂上舉胸後屈	臂前側上舉振 臂上舉上伸 臂前舉前屈側開上舉振 臂側廻旋

體操(其ノ一)	戲遊進行及戲	
	戲遊進行	戲遊歌唱
本科(女子三年制)	第一 年	花すみれ 蜜柑船 故郷の空
	第二 年	ゆりかご 月見草 胡蝶
	第三 年	

類	下	第
頭廻旋 頭側轉 頭前後(側)屈 手腰開脚	臂前側前舉振 臂斜上舉振屈膝舉股 臂前上舉振舉踵屈膝 臂上舉上伸舉踵屈膝	第一 年
頭廻旋 頭側轉 頭前後(側)屈 手腰開脚	臂前側前舉振 脚斜上舉振屈膝舉股 臂前上舉振舉踵屈膝 臂側斜上舉振舉踵屈膝	第二 年
頭廻旋 頭側轉 頭前後(側)屈 手腰開脚	臂前側前舉振 臂前上舉振舉踵屈膝 臂側廻旋舉踵屈膝	第三 年

走及步	跳	躍	呼吸	體操(其ノ二)
正常步(走) 急步(走)	臂上脚後舉振跳 足側出屈膝舉股跳 臂前上舉兩脚跳 跳越	臂立跳上下 臂立側(正面)跳越	臂上舉 臂上舉胸後反	第一 一年 一 臂前舉振舉踵屈膝 二 臂脚前側前舉振 三 頭前後屈一側 手腰開脚 四 頭迴旋 手腰開脚 五 臂前舉前屈側開
正常步(走) 急步(走)	脚前(後)伸跳 跳越 臂立跳上下		臂上舉 臂上舉胸後反	第二 二年 一 臂前舉振舉踵屈膝 二 臂脚前側前舉振 三 頭前後屈一側 手腰開脚 四 頭迴旋 手腰開脚 五 臂前舉前屈側開上舉振
正常步(走) 急步(走)	脚前(後)伸跳 跳越 臂立跳上下		臂上舉 臂上舉胸後反	第三 三年 一 臂前舉振舉踵屈膝 二 臂脚前側前舉振 三 頭前後屈一側 手腰開脚 四 頭迴旋 手腰開脚 五 臂前舉前屈側開上舉振

聯	體操
六 臂內外迴旋 七 足側出臂上舉胸後屈 八 足側出臂前舉片臂側開體側轉 九 足側出臂側片臂上舉體側屈 〇 足側出臂上舉體前後屈 一 臂斜上舉振屈膝舉股 二 足側出片臂側開體側轉 三 足側出片臂上舉體側屈 四 臂後迴旋體前後屈 開脚 五 臂體迴旋 開脚 六 臂前上舉伸舉踵屈膝 七 體前屈前倒臂上舉振 開脚 八 足側出屈膝舉股跳 手腰 九 臂前上舉振舉踵屈膝 〇 臂上舉胸後反	六 臂內外迴旋 七 足後出臂上舉胸後屈 八 足前出臂前舉片臂側開體側轉 九 足側出臂側片臂上舉體側屈 〇 足後出臂上舉體前後屈 一 臂斜上舉振屈膝舉股 二 足側出片臂側開體側轉 三 足側出片臂上舉體側屈 四 臂前後迴旋體前後 開脚 五 臂體迴旋 開脚 六 臂前上舉振舉踵屈膝 七 體前屈前倒臂上舉振 手腰 八 脚前—後伸跳 九 臂脚前側前舉振 〇 臂上舉胸後反
六 臂側迴旋 七 足前出臂上舉胸後屈 八 足前出臂前舉片臂側開體側轉 九 足側出臂側片臂上舉體側屈 〇 足前出臂上舉體前後屈 一 臂側斜上舉振舉踵屈膝 二 足側出片臂側開體側轉 三 足側出片臂上舉體側屈 四 臂前後迴旋體前後 開脚 五 臂體迴旋 開脚 六 臂前上舉振舉踵屈膝 七 體前屈前倒臂上舉振 手腰 八 脚前—後伸跳 九 臂脚前側前舉振 〇 臂上舉胸後反	

教練

進行及戲遊歌唱		種各	技球	投	跳	走	第
戲遊歌唱	習練本基						
日の御旗	基本歩法 基本態勢 應用態勢	追羽根 圓陣鬼	圓形避球 搬球 簡易排球	手球投●	三回跳 繩跳	百米疾走 置換競爭	第一 年
菊	基本歩法 基本態勢 應用態勢	順送球 送球競爭	圓形避球 簡易手球 排球	手球投	三段跳	百米疾走 置換競爭 競步	第二 年
寧樂の都	基本歩法 基本態勢 應用態勢	轉球競爭 投順送球	方形避球 手球 排球	手球投		百米疾走 置換競爭 競步	第三 年

競技及遊戯

教	練	第
氣ヲ著ケ 休メ 集合及解散 番號 整頓 右(左)(後)向 半右(左)向 縱隊行進 駝歩 止レ 足蹈 伍伍右(左) 速歩間右(左)(後)向 橫隊行進 方向ヲ換ヘ 駝歩間右(左)(後)向 駝歩ヨリ速歩	氣ヲ著ケ 休メ 集合及解散 番號 整頓 右(左)(後)向 半右(左)向 縱隊行進 駝歩 止レ 足蹈 伍伍右(左) 速歩間右(左)(後)向 橫隊行進 方向ヲ換ヘ 駝歩間右(左)(後)向 駝歩ヨリ速歩	第一 年
氣ヲ著ケ 休メ 集合及解散 番號 整頓 右(左)(後)向 半右(左)向 縱隊行進 駝歩 止レ 足蹈 伍伍右(左) 速歩間右(左)(後)向 橫隊行進 方向ヲ換ヘ 駝歩間右(左)(後)向 駝歩ヨリ速歩	氣ヲ著ケ 休メ 集合及解散 番號 整頓 右(左)(後)向 半右(左)向 縱隊行進 駝歩 止レ 足蹈 伍伍右(左) 速歩間右(左)(後)向 橫隊行進 方向ヲ換ヘ 駝歩間右(左)(後)向 駝歩ヨリ速歩	第二 年
氣ヲ著ケ 休メ 集合及解散 番號 整頓 右(左)(後)向 半右(左)向 縱隊行進 駝歩 止レ 足蹈 伍伍右(左) 速歩間右(左)(後)向 橫隊行進 方向ヲ換ヘ 駝歩間右(左)(後)向 駝歩ヨリ速歩	氣ヲ著ケ 休メ 集合及解散 番號 整頓 右(左)(後)向 半右(左)向 縱隊行進 駝歩 止レ 足蹈 伍伍右(左) 速歩間右(左)(後)向 橫隊行進 方向ヲ換ヘ 駝歩間右(左)(後)向 駝歩ヨリ速歩	第三 年

戲遊
戲遊進行

田毎の月

なぎさ

ひなげし

實施上の注意

- 一 體操科の教授及訓練は克く生徒の身體及精神の情況に應じて適切なる指導を爲すと共に生徒に體育運動の必要を自覺せしめ不斷に之を行ふ習慣を養ふことに力むべし
- 二 體操科の教授及訓練は徒に技術の末に走ることなく體育上の効果を多からしむると共に精神的修練に留意すべし
- 三 體操科の體操・競技及遊戯は各特長を有し互に相倚りて體操科の目的を達成するものなるを以て其の一部に偏せざるやう留意すべし
- 四 職業に因る身體の固癖は其の職業の種類に依りて異なるものあるべきを以て體操教材中より特に其の固癖の矯正に適切なるものを選び一般的修練に附加して課することに力むべし
- 五 體操科の教授及訓練は之を屋外に於て實施するを本體となすも屋内に於て行ふ場合にありては採光換氣に留意すると共に努めて清潔を保たしむべし

- 六 一聯の體操は機會ある毎に努めて之を實施し生徒をして習熟せしむると共に日常生活の中に於ても自ら行ふやう導くべし
- 七 男子の體操に在りては其の鍛練的效果を高むる爲屢數箇の體操器械等を組合はせ綜合的障礙競争を行はしむべし
- 八 競技及遊戯の指導は準備運動より始め整理運動を以て終るやう體育的に實施すべし
- 九 唱歌遊戯及行進遊戯は基本練習に重きを置き且歌曲の理解と相俟ち反覆練習して其の効果を擧ぐるやう留意すべし
- 十 女子に就ては其の心身の特性に鑑み指導の方法を適切にし且容儀に留意すべし
- 十一 各年に配當したる教材の外に保健的體操中より適當なるものを選びて正課時間内に課するを妨げず
- 十二 本要目に掲げたる教材の外土地の情況に應じて男子に在りては劍道・柔道・弓道・水泳等女子に在りては弓道・薙刀・水泳等適當なる運動を適宜課することを得るものとす
- 十三 體操科の教授及訓練は克く土地の情況・季節・天候・設備等を考慮して之を適切ならしむべし

- 十四 器械器具を使用する運動に在りては特に傷害豫防に留意すべし
- 十五 本科女子に於ける教授及訓練期間を二年と爲したる場合に在りては本要目中本科女子第一年及第二年の教材を以て之に充當すべし

●私立青年學校ノ設置者ニ關スル件

(昭和十二年三月十六日 各地方長官宛文部省社會教育局長通牒)
發社四六號

標記ニ關シテハ昭和十年發社八六號通牒ニ於テ之ヲ指示致シタル處其ノ設置手續ヲ簡捷ナラシムル爲其ノ設置者名義ヲ營利法人ト爲スコトヲ許容スルコトト相成タルニ付御了知相成度 尙本件取扱ニ關シテハ左記事項御留意相成度此段依命通牒ス

記

- 一 學校ノ名稱中「株式會社」等ノ文字ヲ附セシメザルコト
 - 二 學校ノ名稱ニ文字ニアラザル記號ヲ附セシメザルコト
- (例、私立⊕青年學校等トセザルコト)

●青年學校視學委員ノ取扱ニ關スル件

(昭和十一年五月二十六日 各地方長官宛文部省社會教育局長通牒)
發社九二號

昭和十一年一月二十日發社二八〇號通牒ニ依リ設ケラレタル青年學校視學委員ノ取扱ニ關シテハ左記ニ依リ御處理相成度

記

- 一 官公立學校職員タル者ヲ青年學校視學委員ニ委囑スル場合ハ辭令面ニ其ノ官職(例、何高等農林學校教授、公立實業學校長、何高等女學校教諭等)ヲ肩書セラルルニ付委囑發令後當該官職ニ變更ヲ生ジ又ハ之ヲ喪失シタルトキハ青年學校視學委員タルノ身分ハ自然消滅スルモノナルコト
- 前項ニ依リ青年學校視學委員タル身分ノ自然消滅シタル者ニ就キ青年學校視學委員要項三ニ依リ更ニ青年學校視學委員ノ委囑方ヲ内申スルヲ妨ゲザルコト
- 二 公立學校職員ニシテ青年學校視學委員ニ委囑セラレタル者其ノ辭令面ニ肩書セラレタル官職ニハ變更ナクシテ他ノ道府縣ノ學校ニ轉補セラレタルトキ(例、辭令面ノ肩書ニハ公立實業學校長トアル者ガ他ノ道府縣ノ公立實業學校長ニ轉補セラレタルトキ)ハ委囑ヲ内申シタル地方長官ニ於テ其ノ年月日ヲ具シ青年學校視學委員ノ解囑方ヲ内申スルコト但シ本人ノ解囑願ヲ必要トセザルコト
- 三 官公立學校職員ニシテ青年學校視學委員ニ委囑セラレタル者休職ヲ命ゼラレタルトキハ直ニ青年學校視學委員ノ解囑方ヲ内申スルコト
- 四 青年學校視學委員ニシテ一ニ依リ其ノ身分ノ自然消滅シタル者、死亡シタル者又ハ改姓改名シタル者アルトキハ其ノ年月日ヲ具シ直ニ之ヲ報告スルコト

●青年學校教員養成所ノ所長又ハ教諭ヲ青年學校 視學委員ニ委囑ノ件

(昭和十一年十二月三日 各地方長官宛文部省社會教育局長通牒)
發社二八〇號

本年一月二十日發社二八〇號通牒ニ依ル青年學校視學委員ニ關シ、青年學校ト青年學校教員養成所トノ連絡ヲ一層緊密ナラシムル爲青年學校教員養成所ノ設置アル道府縣ニ於テハ爾今各青年學校教員養成所長(道府縣學務關係職員ニアラザル所長事務取扱ヲ含ム)、所長ナキトキハ教諭一名ハ必ズ委囑致シ置キ度キ方針ニ付左様御含ミ相成度 尙現在右委囑ナキ向ニアリテハ成ルベク速ニ之ガ實現方御考慮相成度

追テ他ノ學校ノ學校長又ハ教諭ヨリ兼任セル青年學校教員養成所ノ所長又ハ教諭ヲ青年學校視學委員トシテ委囑ノ際ハ青年學校教員養成所ノ所長又ハ教諭ノ肩書ヲ以テ發令致ス取扱ナルニ付御了知相成度

尙又青年學校教員養成所長ガ青年學校視學委員ニ委囑セラレタルトキト雖モ之ガ爲却テ青年學校教員養成所令第六條第二項ニ依ル所長固有ノ青年學校視察ノ機會ヲ減少スルガ如キト無之様之ガ旅費豫算等ニ關シ特ニ御配意相成度爲念申添フ

●「青年學校の歌」ノ歌詞及曲譜

昭和十二年四月十三日
文部省告示第二百號

今般本省ニ於テ制定シタル「青年學校の歌」ノ歌詞及曲譜左ノ如シ

文部省撰

青年學校の歌

(一)

朝あしたの土つちを歡よろこびふみて
勤つとの間に集あふ學舍がくしや
若わかき生い命のちわれら睦むつみ
はるけき希のぞ望みこゝに謳うたへば
心こゝろさやけく身みはつよし
潔きよき使し命いのち青年學校せいねんがくしや

(二)

夕ゆふの空そらに星ほし影かげ仰あやぎ
働はたらき終はへて急いそぐ學舍がくしや

青年学校の歌

文部省
東京音楽学校作曲

明るく (J=108)

快活に力強く (J=108)

ア シ ク ノ フ ナ ヲ ロ コ ビ フ ミ タ フ ト ノ ヒ ヲ ニ テ
ニ ヲ ム ベ の セ ラ ニ 照 シ カ げ ア ム ス ノ ヒ ク ニ セ カ リ
三ツクワドヲヒラキナシハヒススノヒクニセカリ

ツフマナビヤ - ワカキ イノチ - ワレラム - フ ミ
いそぐまなびや - わかき ニコニ - われらは - げ ム
マナナビヤ - ワカキ イタニ - ワレラト - ヌ

ハルタキ ノゾイコムウタヘバ - ココロヲヤケタ
ムだんのれんまをせしくつめば - ちからはのびて
ハルタルレキレキアツイアツキ

ハハフオレキヨキレノイセイキソノタカク -
わざたのしましあいのせいねんがくか -
ムカイバキヨキレノイセイキソノタカク

(注意、前巻は省略する可なり)

一三三

崇^た御^み榮^え若^わ皇^み郷^き 重^{おも}力^{ちから}不^ふ若^わ
 き代^よあき國^{くに}土^{つち} きは斷^たき
 使^しのる御^みのを (三) 使^し仲^なの精^{せい}
 命^{いのち}惠^{めぐみ}歴^{れき}民^{たみ}光^{ひかり}拓^{ひら} 命^{いのち}び鍊^{くわ}神^{かみ}
 青^{あお}に史^しわ増^まき 青^{あお}て磨^あわ
 年^{とし}報^{ほう}尊^{たうと}れさ産^{さん} 年^{とし}業^{わざ}雄^{ゆう}れ
 學^{がく}いみらん業^{わざ} 學^{がく}た々^々ら
 校^{がう}ば仰^{おほ}共^{とも}學^{がく}す 校^{がう}のし勵^む
 やぎに舎^やめ し^しくみ
 積^ためば

一三三

●ラヂオ青年講座聴取方ニ關スル件

(昭和十二年四月十二日 各地方長官宛文部省社會教育局長通牒)
雜社七一號

社團法人日本放送協會ニ於テハ今般東京、大阪、名古屋三局中繼ヲ以テラヂオ青年講座ヲ開講シ勤勞男女青年ノ修練ニ資セシムルコトト相成リタル處、右ハ男女青年ノ教養ヲ昂メ修養ニ努メシムル上ニ洵ニ有意義ナルモノアリト認めラルルニ依リ貴管下青年學校生徒、男女青年團員等ヲシテ努メテ之ヲ利用セシムル様御配意相煩度

追而青年學校ニ於テ利用スル場合ノ右聴取時數ハ之ヲ教授及訓練時數ニ算入相成ラザル義ニ付御了知相成度尙團體聴取ノ向ニ對シテハ日本放送協會ヨリテキスト無料配布ノ趣ニ有之

第二 公立青年學校職員

●奏任官待遇青年學校職員ノ任命上申ニ際シ調書
添付ノ件

(昭和十年十月三日 各地方長官宛文部大臣官房秘書課長通牒)
祕四三八號

奏任官待遇青年學校職員ノ任命上申ニ際シテハ爾今左記事項ニ關スル調書御添付相成様致度
追テ目下上申中ノモノハ本通牒ニ基キ調書至急御提出相成度尙奏任官待遇職員ノ在職スル青年
學校ニシテ左記第一項、第二項、第四項乃至第六項ノ事項中變更アリタル場合若ハ當該學校廢
止ノ場合ハ無遲滯其ノ旨御報告相成度

記

一、校名

二、位置

三、設置年月日

四、學校種別

五、科別修業年限及入學資格

六、教授及訓練時刻並季節

- 七、一ヶ年ノ教授及訓練時數
- 八、學級數、生徒數
- 九、出席歩合

一〇、職員數 專任 兼任 其他
人 人 人
 計 人

一一、一ヶ年ノ經常費

注意

- 一、校名ヲ正確ニ記載スルコト
- 二、位置ハ府縣郡市町村名ヲ記載シ且獨立校ト併設校ニ(併設ノ場合ハ併設校ノ名稱ヲモ記載ノコト)ノ區別ヲ明示スルコト

●公立青年學校奏任待遇職員任用内規

(昭和十一年七月十日 各地方長官宛文部大臣官房秘書課長通牒)
 (秘二七八號)

青年學校職員ノ奏任官待遇任用ニ關スル内規左ノ通定メラレタルニ付右御了知相成度
 追テ爾今當該學校トシテ初メテ奏任官待遇職員ヲ置ク場合ノ任命上申ニ際シテハ客年十月三日
 付秘四三八號通牒ニ依ル調書添付相成度其ノ他ノ場合ニハ學級數、專任教員數(教諭、助教諭)
 並奏任待遇教諭現員數(專任、兼任別)附記相成度

公立青年學校奏任待遇職員任用内規

一、任用資格

(一) 教諭

青年學校教員資格規程第一條第一號又ハ第二號(公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル者ノ
 指定第二號該當者ヲ除ク)ニ該當スルモノタルコト

(二) 學校長

- (1) 前項ニ該當スル者
- (2) 奏任官待遇以上ノ職員ノ職ニ在リタル者

(3) 十五年以上判任官又ハ判任官待遇ノ職員ノ職ニ在リタル者

(三) 兼任職員

兼任ノ學校長又ハ教諭ハ本職ニ於テ奏任官ノ待遇ヲ受クル者ノ外詮議セサルモノトス但シ專任教員ヲ設置スル優良青年學校ノ學校長ニシテ前項(1)又ハ(2)ニ該當スル者ニ在リテハ之ヲ奏任官ノ待遇ト爲スコトヲ得

一、教諭ニシテ奏任待遇ト爲シ得ル者ノ員數

專任教員(指導員、講師ヲ除ク)數六人以下ノ學校ニ在リテハ二人以内、十人以下ノ學校ニ在リテハ三人以内トシ、十人ヲ超ユルトキハ五人ヲ増ス毎ニ一人ヲ加フルコトヲ得
前項ノ員數ニハ任用資格第三號ニ該當スル者ヲ含マサルモノトス

第五 其ノ他

●學校身體檢查規程〔抄〕

昭和十二年一月二十七日
文部省令第二號

第一條 學校ニ於テハ學生生徒兒童ノ身體ノ養護鍛鍊ヲ適切ニシ體位ノ向上ト健康ノ増進トヲ圖ル爲本令ニ依リ身體檢查ヲ施行スベシ

第二條 身體檢查ハ學校醫ヲシテ之ヲ行ハシムベシ

學校醫ナキトキ又ハ學校醫身體檢查ヲ行ヒ難キ事情アルトキハ他ノ醫師ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

學校齒科醫ヲ置キタル學校ニ在リテハ齒牙ノ檢查ハ學校齒科醫ヲシテ之ヲ行ハシムベシ
學校職員、學校看護婦其ノ他適當ナル者ヲシテ身體檢查ノ一部ヲ補助セシムルコトヲ得

第三條 身體檢查ハ毎年四月ニ之ヲ施行スベシ但シ止ムヲ得ザル場合ニ於テハ身長、體重、胸圍、坐高ノ測定ヲ除キ六月末日迄ニ之ヲ施行スルコトヲ得

第四條 身體檢查ハ左ノ項目ニ就キ之ヲ施行スベシ

身長、體重、胸圍、坐高、榮養、脊柱、胸廓、眼、耳、鼻及咽頭、皮膚、齒牙、其ノ他ノ疾病及異常

前項目ノ外必要ト認メタル事項ハ特ニ檢查ヲ行フコトヲ得

第五條 身體検査ハ左ノ各號ニ準據シテ之ヲ施行スベシ

- 一 身長、胸圍及坐高ハ「センチメートル」、體重ハ「キログラム」ヲ以テ單位トシ四捨五入法ヲ用ヒ單位ノ下一位ニ止ムベシ
- 二 身長ハ足袋、靴等ヲ脱シ兩踵ヲ密接シ背、臀部及踵ヲ尺柱ニ接シテ直立シ兩上肢ヲ體側ニ垂レ頭部ヲ正位ニ保チ之ヲ測定スベシ
- 三 體重ハ著衣ノ儘測定シタルトキハ其ノ衣服ノ重量ヲ控除スベシ
- 四 胸圍ハ起立ノ姿勢ニ於テ兩上肢ヲ自然ニ垂レシメ背面ハ肩胛骨ノ直下部、前面ハ乳頭ノ直上部ニ尺帶ヲ當テ安靜呼吸ノ終レルトキ之ヲ行フベシ乳房ノ著シク膨隆セル女子ニ在リテハ尺帶ヲ少シク其ノ上方ニ當テ測定スルモノトス
- 五 坐高ハ腰掛ニ正坐セシメ上體ヲ垂直ニ保チ身長ノ測定方法ニ準ジ坐面ヨリ顛頂マデノ距離ヲ測定スベシ
- 六 榮養ハ皮膚ノ色澤、皮下脂肪ノ充實、筋骨ノ發達等ニ就キ検査スベシ榮養ノ狀態普通以下ニシテ衛生上特ニ注意ヲ要スト認ムルモノヲ「要注意」トシ其ノ他ノモノヲ「可」トシ之ヲ記入スベシ
- 七 脊柱ハ形態及疾病ニ就キ検査スベシ

形態ハ生理的彎曲ヲ有スル者ヲ「正」トシ異常アル者ニ就テハ平背、圓背、龜背、側彎等ヲ區別スベシ

疾病ハ特ニ「カリエス」ニ注意スベシ

八 胸廓ハ形態、發育等ニ就キ検査スベシ

異常アル者ニ就テハ扁平胸、漏斗胸、鳩胸等ヲ區別スベシ

九 眼ハ視力、屈折異常、色神及眼疾ニ就キ検査スベシ

視力ハ萬國式試視力表ニ就キ左右ヲ各別ニ検査シ裸眼視力ヲ記入スベシ但シ眼鏡ヲ常用スル者ニ就テハ裸眼視力ノ外更ニ其ノ眼鏡ヲ裝用シタル儘左右ノ視力ヲ検査シ括弧内ニ記入スベシ

弱視失明等モ各眼ニ就キ記入スベシ

屈折異常アル者ニ就テハ近視、遠視、亂視ノ種別ニ各眼ニ就キ記入スベシ

色神ハ異常ノ有無ヲ記入スベシ

眼疾ハ特ニ「トラホーム」ニ注意スベシ

尋常小學校第二學年以下ノ兒童ニ在リテハ視力、屈折異常及色神ノ検査ヲ省略スルコトヲ得

一〇 耳ハ聽力及耳疾ニ就キ検査スベシ

聽力ハ適當ナル方法ニ依リ検査シ障礙ノ有無ヲ記入スベシ

耳疾ハ特ニ中耳炎ニ注意シ耳聾栓塞アルトキハ耳疾欄ニ記入スベシ

尋常小學校第二學年以下ノ兒童ニ在リテハ聽力ノ検査ヲ省略スルコトヲ得

一一 鼻及咽頭ハ鼻炎、鼻茸、蓄膿症、腺樣增殖症、扁桃腺肥大等ニ注意スベシ

一二 皮膚ハ白癬、疥癬其ノ他ノ傳染性皮膚疾患、濕疹、頭蝨等ニ注意スベシ

一三 齒牙ハ齲齒ニ就キ検査シ處置齒、未處置齒ニ分チテ其ノ數ヲ記入スベシ

學校齒科醫ヲ置キタル學校ニ在リテハ齲齒ノ數ハ更ニ乳齒、永久齒ニ分チテ記入シ又齒列異常其ノ他ノ齒疾ニ就テモ注意スベシ

一四 其ノ他ノ疾病及異常ニ就テハ呼吸器、循環器、消化器、神経系等ヲ検査シ結核性疾患、

腺病、肋膜炎、心臟疾患、貧血、脚氣、脱腸、神經衰弱、言語障礙、精神障礙、骨・關節ノ異

常、四肢運動障礙等ノ發見ニカムベシ

第六條 前條ノ検査ヲ終了シタルトキハ全身ノ態狀ヲ綜合考察シ身體虛弱、精神薄弱又ハ疾病及

異常ヲ有スル者ニシテ學校衛生上特別養護ノ必要アリト認ムルモノヲ「要養護」トシ然ラザルモ

ノヲ「可」トシ概評欄ニ記入スベシ但シ大學、高等學校、專門學校並ニ之ト同等程度以上ノ學校

ニ在リテハ之ヲ省略スルコトヲ得

第七條 身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ其ノ結果ヲ本人又ハ其ノ保護者ニ通知スベシ授業

免除、就學猶豫、休學又ハ治療、保護、矯正等ヲ要スル者アルトキハ本人又ハ其ノ保護者ニ注

意ヲ與ヘ適切ナル處置ヲ講ゼシムベシ

學校ニ於テ必要アルトキハ健康相談、豫防處置、其ノ他適當ナル保健養護ノ施設ヲ講ズベシ

第八條 身體検査ヲ施行シタルトキハ其ノ結果ヲ第一號様式ノ身體検査票ニ記入シ本人在學中之

ヲ使用スベシ轉學シタル者アルトキハ學校長ハ前ノ學校ヨリ其ノ身體検査票ノ交付ヲ受ケ使用

スベシ

身體検査票ハ學校長ニ於テ之ヲ保管スベシ(様式省略)

第九條 身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ第二號様式ノ身體検査統計表ヲ調製シ其ノ年八月

末日迄ニ直轄學校、公私立大學、高等學校、專門學校ニ在リテハ文部大臣ニ、其ノ他ノ學校ニ

在リテハ地方長官ニ報告スベシ

地方長官ハ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ取纏メ小學校以外ノ學校ニ就テハ其ノ年九月末日

迄ニ、小學校ニ就テハ第二號様式ニ準ジ道府縣身體検査集計表ヲ調製添附シ其ノ年十二月末日

迄ニ文部大臣ニ送付スベシ(様式省略)

第十條 監督官廳若ハ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ學校醫若ハ學校齒科醫ニ於テ必要ト認

メ學校長ノ同意ヲ得タルトキハ適當ナル項目ニ就キ臨時身體検査ヲ行フコトヲ得

第十一條 前各條ニ依ル身體検査ノ外就學、入學ニ關シ身體検査ヲ行フコトヲ得

第十四條 地方長官又ハ直轄學校、公私立大學、高等學校、專門學校ノ長ハ學校職員、傭人等ノ身體検査ニ關シ必要ナル事項ヲ定ムルコトヲ得

第十五條 地方長官ハ本令ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

第十六條 特別ノ事情アル場合ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ本令ノ身體検査ヲ行ハザルコトヲ得

附則

本令ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

道府縣ニ於テ第九條第二項ノ集計表ヲ調製シ難キ事情アルトキハ當分ノ内之ヲ省略スルコトヲ得

特別ノ事情アルトキハ地方長官ノ認可ヲ受ケ第三條ノ規定ニ拘ラズ當分ノ内毎年九月末日迄ニ之ヲ施行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第九條第一項ノ期限ハ十一月末日迄、同條第二項ノ期限ハ十二月末日迄トス

學生生徒兒童身體検査規程ハ之ヲ廢止ス

●生徒兒童ノ外國旅行スル場合ノ企劃大要等報告方

(昭和六年十二月七日 各地方長官へ文部次官通牒) 發專一七二號

貴管内學校ノ生徒兒童ニシテ修學旅行其ノ他ノ目的ヲ以テ外國ニ旅行スル者有之際ハ夫々適宜監督相成居ルコトト思料セラルルモ爾今右ノ場合ニハ學校ノ行事タルト學校以外ノ主催タルトヲ不同其ノ所屬學校名及企劃ノ大要(目的、旅行先及日程、生徒兒童氏名、監督ノ方法、經費額及支辨方法、授業上ノ關係等)ヲ又歸國後ハ其ノ情況ヲ其ノ都度遲滯ナク御報告相成度依命此段通牒ス

尙高等學校專門學校以上ニハ別ニ同一趣旨ヲ通牒致置キタルニ付爲念申添フ

●旅客及荷物運送規則〔抄〕

昭和七年六月六日
鐵道省告示第七十九號

改正 昭和十二年第一三八號

第二條 本規則ニ於ケル用語ハ左ノ如シ

八 學校トハ左ニ該當スルモノヲ謂フ

イ 大學令、高等學校令、專門學校令、師範教育令、高等女學校令、實業學校令、青年學校令、小學校令、盲學校及聾啞學校令、幼稚園令、青年學校教員養成所令ニ依リ設立シタル官公立及私立學校並ニ學習院、女子學習院及陸海軍各學校

ロ 前號ノ官公立學校ニ準ズベキモノ（修業期間一箇年以上ニシテ且一箇年ノ授業時數七百時間以上ノモノニ限ル）ニシテ鐵道省ノ指定シタルモノ

ハ 「イ」號ノ各學校令ニ依ラズ設立シタル私立學校（修業期間一箇年以上ニシテ且一箇年ノ授業時數七百時以上ノモノニ限ル）ニシテ鐵道省ノ指定シタルモノ

第十條 乗車券ノ種類ハ左ノ如シ

普通定期乗車券（一般旅客ノ鐵道（百五十軒以内ニ限ル）、自動車及指定シタル航路ニ於ケル常時乗用ノモノ）

二 定期乗車券

學生定期乗車券（學校（青年學校令ニ依リ設立シタル私立學校ヲ除ク）ノ學生及生徒（幼稚園ノ幼兒ヲ含ム以下同シ）ノ鐵道（百五十軒以内ニ限ル）自動車及指定シタル航路ニ於ケル通學用ノモノ）

職工定期乗車券（工場法又ハ鑛業法ノ適用ヲ受ケ且鐵道省ノ指定シタル工場ニ勤務スル職工、徒弟及人夫ノ鐵道（百五十軒以内ニ限ル）ニ於ケル通勤用ノモノ）

第十七條 乗車券ノ通用期間ハ別ニ定アル場合ヲ除キ左ノ如シ

二 定期乗車券

イ 普通定期乗車券 一箇月、三箇月又ハ六箇月

ロ 學生定期乗車券 一箇月、三箇月、六箇月又ハ十二箇月

ハ 職工定期乗車券 一箇月又ハ三箇月

第五十八條 定期乗車券ヲ購求スル者ハ驛ニ備付ノ左ノ様式ノ申込書ヲ提出スベキモノトス（様式省略）

學生、職工及小兒用定期乗車券ヲ購求スル者ハ前項ノ申込書ノ外係員ノ請求ニ依リ左ノ證明文書ヲ提出スベキモノトス學生、職工定期乗車券所持ノ旅客ガ第六十二條ニ依リ區間變更ノ請

求ヲ爲ス場合亦同ジ

一 學生、生徒ニ在リテハ住所、氏名、生年月日、通學期間、通用期間及學校所在地ヲ記載シタル當該學校長發行ノ左ノ様式ノ通學證明書(様式省略)

二 職工、徒弟及人夫ニ在リテハ住所、氏名、生年月日及通勤區間ヲ記載シタル當該工場長又ハ支配人發行ノ左ノ第一號様式ノ通勤證明書(鐵道省ニ於テ共同購入ヲ指定シタル場合ハ第二號様式ノモノトス)(様式省略)

第六十一條 學校ノ教員、學生主事、同主事補、生徒主事、同主事補、生徒監、舍監、學生又ハ生徒ガ片道五十軒以上旅行ヲ爲ス場合ニ於テハ所定ノ割引證ヲ收受シ教員、學生主事、同主事補、生徒主事、同主事補、生徒監及舍監ニ對シテハ二、三等旅客運賃ノ二割ヲ、學生及生徒ニ對シテハ三等旅客運賃ノ二割ヲ低減ス但シ小兒ニ對シテハ之ガ低減ヲ爲サズ

第六十二條 前條ノ割引證ハ監督官廳ヲ經テ關係ノ學校ヨリ本人ニ之ヲ交付ス其ノ様式ハ左ノ如シ(様式省略)

第六十三條 第六十一條ニ依リ旅行ヲ爲ス旅客ハ住所、氏名及生年月日ヲ記載シタル當該學校長發行ニ係ル左ノ様式ノ身分證明書ヲ携帯シ係員ノ請求アルトキハ何時ニテモ之ヲ呈示スベキモノトス(様式省略)

第六十九條ノ二 左ノ場合ニ於テハ參列者ガ往復旅行ヲ爲ストキハ大人ニ限り所定ノ割引證ヲ收受シ四百人以上ノトキハ二、三等旅客運賃ノ二割ヲ、千人以上ノトキハ同三割ヲ、一萬人以上ノトキハ同四割ヲ低減ス

一 官公衙ガ青年團員又ハ其ノ役員ノ大會ヲ開催スルトキ

四 官公衙ガ青年訓練所生徒、指導員又ハ學校ノ學生、生徒、教員ノ大會ヲ開催スルトキ

第七十條 左ノ場合ニ於テ參列者ガ片道五十軒以上(參列者ガ同一道府縣以内ノミヨリナルトキハ乗車船距離ヲ制限セズ)ノ往復旅行ヲ爲ストキハ大人ニ限り所定ノ割引證ヲ收受シ百人以上ノトキハ二、三等旅客運賃ノ三割ヲ、四百人以上ノトキハ同五割ヲ低減ス

一 官公衙、學校、教育會又ハ公益法人ガ教員、視學、教育會役員又ハ學務委員ノ教育ニ關スル大會若ハ講習會ヲ開催スルトキ

第七十一條 第六十七條乃至第七十條ニ依リ旅客運賃ノ割引ヲ受ケントスル主催者ハ規則書其ノ他參考トナルベキ書類ヲ添附シテ其ノ申込書ヲ鐵道省運輸局長又ハ最寄鐵道局長ニ提出スベキモノトス

第七十二條 第六十九條乃至第七十條ノ場合ニ於テ實際乗車船人員ガ各所定ノ人員ニ滿タザルトキハ其ノ不足人員ニ對スル百軒分(第六十九條ノ二及參列者ガ同一道府縣以内ノミヨリナルト

キハ五十軒分)ノ各所定ノ割引ヲ爲シタル片道三等旅客運賃ヲ主催者ヨリ收受ス

第七十三條 第六十七條乃至第七十條ニ依リ旅客運賃ノ割引ヲ爲シタル場合主催者ニ於テ指定以外ノ者ヲシテ割引證ヲ使用セシメタルトキハ其ノ割引ヲ取消シ割引ヲ爲シタル旅客全部ニ對スル普通旅客運賃又ハ特定旅客運賃ト割引旅客運賃トノ差額ヲ主催者ヨリ收受ス

第七十四條 第六十九條乃至第七十條ニ依リ旅客運賃ノ割引ヲ受ケントスルトキハ主催者ハ左ノ文案ノ請書ヲ提出スベキモノトス(文案省略)

第七十五條 第六十七條乃至第七十條ニ依ル旅客運賃ノ割引區間及割引期間其ノ他ノ取扱條件ハ臨時ノ約束ニ依ル

第七十六條 第六十七條乃至第七十條ノ割引證ハ主催者ニ於テ作製シ之ヲ本人ニ交付スベキモノトス其ノ様式ハ左ノ如シ(様式省略)

第八十六條 團體旅客トハ等級、發着驛及目的ヲ同ジクスル第九十條所定ノ人員以上ガ一團トナリテ旅行ヲ爲スモノニシテ鐵道省ノ承認ニ依リ第九十條所定ノ旅客運賃ノ割引ヲ受クルモノヲ謂フ
發着驛ヲ異ニスル場合ト雖モ全區間ノ旅客運賃ヲ支拂ヒ途中ヨリ一行ニ參加又ハ分離スル場合ハ一箇ノ團體トシテ取扱フ

旅客ガ事實ヲ偽リ團體旅客ノ取扱ヲ受ケタルコトヲ乗車券購求後發見シタルトキハ既收ノ團體

旅客運賃ト當該團體乗車券面記載ノ人員、區間及等級ニ對スル普通旅客運賃又ハ特定旅客運賃トノ差額ヲ團體ノ申込者ヨリ收受ス

第八十七條 團體旅客ノ種類ハ左ノ如シ

一 普通團體

第二號及第三號以外ノ團體ニシテ責任アル代表者ノ引率スルモノ

二 特別團體

イ 同一學校ノ學生、生徒及生徒ノ附添人ヨリ成ル團體ニシテ教職員ノ引率スルモノ

ニ 鐵道省ニ於テ特ニ認メタル前各號ニ準ズベキ團體ニシテ責任アル代表者ノ引率スルモノ

第八十九條 左ノ場合ニ於テハ之ヲ一箇ノ特別團體トシテ其ノ取扱ヲ爲ス

一 二校以上ノ學生又ハ生徒ト其ノ教職員ヨリ成ル聯合團體ニシテ關係學校ニ於テ主催スルモノ

第九十條 團體旅客ニ對スル旅客運賃ノ割引ハ左ノ各號ニ依ル

一 割引ノ範圍

イ 普通團體

一、二等

ロ 特別團體

三 等

二 割引率

イ 普通團體

三等

輸送期間		人員	輸送期間	人員
第一期	第二期	以二十五人以上	第一期	第二期
二割	一割五分	五十人以上	二割五分	一割五分
三割	二割五分	百人以上	三割	二割五分
四割	三割五分	二百人以上	四割	三割五分
五割	四割五分	四百人以上	五割	四割五分

二等

輸送期間		人員	輸送期間	人員
第一期	第二期	以二十五人以上	第一期	第二期
三割	二割五分	五十人以上	三割五分	二割五分
四割	三割五分	百人以上	四割	三割五分
五割	四割五分	二百人以上	五割	四割五分
六割	五割五分	四百人以上	六割	五割五分

ロ 特別團體

(一) (二) 號以外ノモノ

輸送期間		人員	輸送期間	人員
第一期	第二期	三十人以上	第一期	第二期
四割	三割五分	百人以上	四割五分	三割五分
五割	四割五分	二百人以上	五割	四割五分
六割	五割五分	四百人以上	六割	五割五分

(二) 高等小學校生徒(省略)

輸送期間第一期トハ一月一日ヨリ同月十日迄、三月十一日ヨリ六月十日迄及七月十一日ヨリ十二月末日迄ヲ謂フ

輸送期間第二期トハ一月十一日ヨリ三月十日迄及六月十一日ヨリ七月十日迄ヲ謂フ

第九十一條第一項

團體旅客ノ人員ガ前條所定ノ人員ニ達セザル場合ト雖モ其ノ不足人員ニ對スル相當旅客運賃ヲ支拂フトキハ所定ノ旅客運賃ノ割引ヲ爲ス

第三百三十八條第四項

圖書館ト市町村役場、學校、青年團(處女會ヲ含ム)トノ間ニ往復スル巡回書庫ニ對シテハ相當小荷物運賃ヨリ五割ヲ低減ス

一一八頁

體操(其ノ一)ノ表中下肢ノ欄第二二年ノ部二行目「脚斜上舉」ハ「臂斜上舉」ノ誤

正 誤 表

Table of corrections (faint text visible on the right page)



333431

